



同窓会ガイドブック

2022



RYUKOKU UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION

龍谷大学校友会

問い合わせ先

龍谷大学校友会事務局（総務課）

〒612-8577

京都市伏見区深草塚本町67

TEL. (075) 645-2015 FAX. (075) 645-2017

E-mail koyu@ad.ryukoku.ac.jp

ホームページ <https://ryukoku-koyukai.jp/>

受付時間 9:15～17:00（土・日・祝及び大学一斉休暇日は休業）

ご卒業・ご修了、おめでとうございます ようこそ龍谷大学校友会へ

一卒業すると同時に校友会員になりますー

龍谷大学校友会は、龍谷大学・龍谷大学短期大学部を

卒業・修了された方々が会員となる**同窓会組織**です。

校友会は「学部同窓会」と「校友会支部」により構成されており、

今春の卒業生・修了生を含め、会員数は約20万5千人に及びます。

校友会は、会員相互の親睦を図り、会員と母校との関係を密にし、

その発展に寄与することを目的として、活動しています。

卒業後も校友同士が交流できるイベントを多数開催していますので、

新入会員の皆さまのご参加をお待ちしています。

龍谷大学校友会 会長挨拶

新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けた皆さま、また、たび重なる自然災害により被害を受けた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。医療従事者や災害復興に携わられている関係者の皆さまに心より敬意を表します。

龍谷大学校友会は、国内地域37支部、海外3支部、職域15支部の合計55支部があります。校友会支部の連携を強く感ずることは、コロナ禍のゆえに対面・出遇いの重要さであり、オンラインなど情報機器の積極的な活用による対話・意思疎通の向上です。

校友会は、世代を超えて卒業生が集い、情報交換や出遇いを喜び、助け合い、協力しあうコミュニティの一つです。校友会の若手会プロジェクトは、2021年11月11日(土)に、哲夫さん(お笑い芸人／笑い飯)の「煩惱とクリエイティビティ」を企画・開催して、楽しい活動が生まれています。各支部におかれては、これまで以上に実りある、楽しい活動となりますようご尽力をたまわり、卒業生の集いが広がっていくようご期待をいたしています。

校友会は、その存在目的である母校龍谷大学の発展への寄与とともに卒業生の親睦・交流・対話がより実りあるものとなるよう全力で努めてまいります。卒業生の皆さまにおかれましては、校友会活動にご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



龍谷大学校友会会長
赤松 徹眞

龍谷大学 学長挨拶

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、私たちは未だかつて経験したことのない危機に直面しております。コロナ禍にあって、多くの学生が不安をかかえ、支援を必要としていた中で、校友のみならず多大なるご支援を賜りました。心から感謝申し上げます。

龍谷大学は、2020年度から2039年の創立400周年を見据えた長期計画「龍谷大学基本構想400」を展開しています。建学の精神を基底におく本学ならではの教育研究をより一層推進してまいります。龍谷大学だからこそできる社会貢献にも力を注ぎます。

龍谷大学では、仏教SDGsと銘打ち、持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを開始しています。自己利益ばかりを追求するのではなく社会の利益を優先する「ソーシャルビジネス」。これを推進していくリサーチセンターを立ち上げたのもその一環です。今後ともご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



龍谷大学学長
入澤 崇

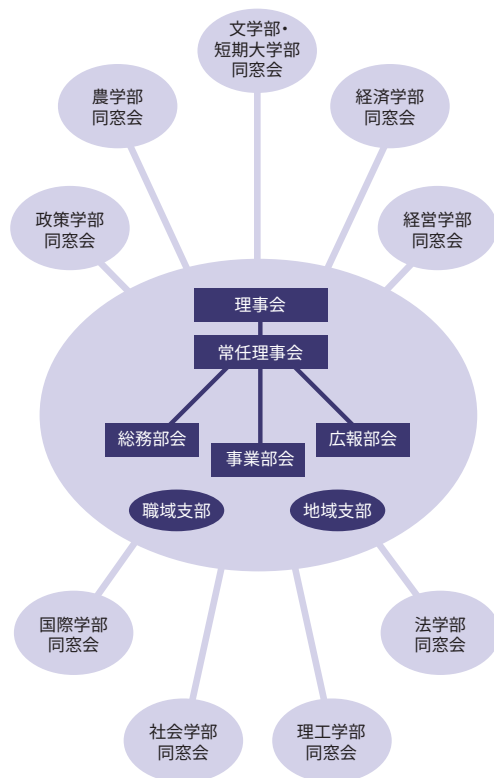
龍谷大学校友会会長挨拶、龍谷大学学長挨拶	01
校友会について	02
各学部同窓会の紹介	03-05
校友会支部一覧	06-08
クラブ・サークルOB・OG会の紹介／歴史のあるサークル一覧	09
校友会の主な事業	10-12
全国支部長会／龍Ron小町	13
校友会員向けサービス	14-17
龍谷大学について	18-20
校友の活躍	21-24
校友のお店・旅館・ホテル紹介	25-27
2021年度役員一覧／決算／貸借対照表	28
龍谷大学校友会会則	29

校友会について

龍谷大学校友会歴代会長

1965年～1966年	初代校友会会長	近藤 亮雅 こんどう りょうが
1966年～1975年	二代	宇野 秀方 うの しゅうほう
1975年～1975年	三代	濱口 大聲 はまぐち だいせい
1975年～1988年	四代	山崎 昭見 やまざき しょうけん
1988年～1996年	五代	井上 襄 いのうえ のぼる
1996年～1999年	六代	日野 振作 ひの しんさく
1999年～2003年	七代	釋 晃 しゃく あきら
2003年～2007年	八代	太田 信隆 おおた しんりゅう
2007年～2013年	九代	三村 峯男 みむら みねお
2013年～2018年	十代	村上 太胤 むらかみ たいいん
2018年～	十一代	赤松 徹眞 あかまつ てっしん

龍谷大学校友会体制表



龍谷大学 響都ホール 校友会館 ホール

龍谷大学校友会の歩み

1899年(明治32年)	第1回大学林同窓会発会する 大学林同窓会報 発行
1902年(明治35年)	高輪仏教大学(本学東京分校)が同窓会を創設
1904年(明治37年)	高輪仏教大学が本学に統合化と同時に 同窓会も統合化する
1939年(昭和14年)	龍谷大学同窓会 会員氏名録 発行
1965年(昭和40年)	経済学部同窓会設立
1967年(昭和42年)	文・短・済同窓会が「校友会」設立 校友会報 創刊
1970年(昭和45年)	経営学部同窓会設立
1972年(昭和47年)	法学部同窓会設立
1982年(昭和57年)	校友名簿電算管理化
1990年(平成 2年)	第1回龍谷賞開始
1993年(平成 5年)	理工・社会学部各同窓会 設立
1995年(平成 7年)	阪神大震災復興三者共催事業開始
2000年(平成12年)	国際文化学部同窓会設立 在学生向け「校友会賞」開始
2005年(平成17年)	ホームカミング・デー開始
2006年(平成18年)	新入生「ふるさとタイム」開始
2009年(平成21年)	創立370周年記念事業参画
2011年(平成23年)	「東日本大震災」に義援金を送る
2014年(平成26年)	校友会設立115周年記念事業を開催(～2016年) 校友会女子会「龍Ron小町」発足 龍谷大学響都ホールに校友会館を設置
2015年(平成27年)	政策学部同窓会設立
2016年(平成28年)	「熊本地震災害」に支援
2018年(平成30年)	「平成30年7月豪雨災害」および「北海道胆振東部地震災害」に支援
2019年(平成31年)	農学部同窓会設立 創立380周年記念事業参画
2020年(令和 2年)	「令和2年7月大雨」および「令和2年12月大雪災害」に支援
2021年(令和 3年)	「令和3年大雪災害」に支援

各学部同窓会の紹介

※過去の写真を掲載している場合があります。

文学部・短期大学部同窓会



文学部・短期大学部
同窓会会長
赤松 徹眞
1976年博士課程満期退学
龍谷大学前学長

会長挨拶 文学部・短期大学部同窓会は、言うまでもなく龍谷大学で長い歴史を有して歩み続けて、同窓生が日本及び世界の多くの分野で活躍されています。本会は、在学中の文学部・短期大学部生を対象に寄付講座・講演会を開催し、また海外留学支援制度などをおこなっています。同窓生には、各同窓会の開催にあたっての助成をおこなっています。

同窓生の皆さまには、母校の充実・発展へのご支援・ご協力とともに、同窓生の交流・親睦を広めて、同窓会活動の発展に、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業紹介 文学部・短期大学部同窓会では、新入会員歓迎パーティを開催していましたが、新型コロナウイルス感染の状況下で開催できず、残念に思っています。ささやかに記念品を贈呈しています。在学生へのキャリア支援を中心とした事業を展開しています。主に寄付講座として「基礎学力向上講座」(文学部1年次対象)、「エントリーシート個別指導講座」「面接対象講座」(ともに文学部3年次向け)を提供して、学生の学力向上や進路開拓を支援しています。また、各界の著名な講師を招聘した特別講義を実施しています。



HP



Twitter



基礎学力向上講座(2021年度)

経済学部同窓会



経済学部同窓会会長
田中 正勝
1978年卒業

会長挨拶 経済学部同窓会(龍経会)は、1966年3月に設立されました。活動の内容は、①卒業生間の情報交流、②在学生への就職支援、③卒業生と在学生の人的交流が中心となります。またメンター制度の取り組みについては、今のビジネス社会で活躍しているOB・OGと在学生をつなぐ試みです。

コロナ禍で変化していく日本のビジネス社会について、カーボンニュートラルやSDGs、さらには、働き方改革やデジタル社会に至るまでさまざまな分野で情報を共有していきたいですね。コロナ禍に負けない強い体と心を持って、みんなでこの難局を乗り越えてまいりましょう。

事業紹介 11月3日に第6回ビジネス・ミーティングをオンラインで実施し山口周氏(独立研究者／パブリックスピーカー)に「ビジネスの未来」と題して、基調講演をしていただきました。第二部では、パネルディスカッションとして加藤秀弥准教授(キャリア主任)の司会のもと、5名のパネリストで討論を行いました。参加者からは、山口氏の説得的でわかりやすい説明に感嘆を受けた、学生の質問が的を射ていた、など、様々な感想がありました。



ビジネス・ミーティング(2019年度)

経営学部同窓会



経営学部同窓会会長
米田 禎孝
1972年卒業

会長挨拶 1970年3月に一期生321名が卒業し、今年で52年になります。経営卒の仲間も約28,500名になりました。同窓会は年齢や職種、肩書きに関係なく、気さくで対等に会話ができる貴重な集まりの場です。その中には各界で活躍している先輩も多くいます。新社会人の皆さまにとっては、今後、同じ学部を卒業した校友同士の豊富な人脈づくりは、仕事や様々な面で苦境に立ったときに役に立ちます。

現在はコロナ禍で見送っていますが、毎年「卒業生の集い」を開催しています。気軽にご参加ください。

事業紹介

- 卒業式後の「新入会員歓迎祝賀会
- 親睦会助成金(同窓会員5名以上で申し込み)
- 20代30代の若手の会開催
- 卒業生の集い開催
- HPやLINEによる情報発信(詳しくはHP参照)



メールリスト
登録画面



LINE



卒業生の集い



法学部同窓会



法学部同窓会会長
成松 重人
1987年卒業

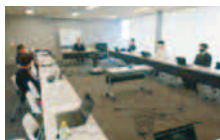
会長挨拶 法学部同窓会が創設され、まもなく50周年を迎えます。今後も、法学部と大学のさらなる発展に向けて、ともに歩んで参ります。コロナの影響もあり、今までとは違った同窓会活動を検討しながら、なお一層充実したものにしていきたいと存じますので、皆様のご参加、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

活動報告や行事開催案内についてはホームページ、Facebook、LINEに掲載しております。下記のQRコードをスキャンしLINEの友達登録をしていただき、法学部同窓会情報をチェックし、一人でも多くの皆様に法学部同窓会の行事にご参加頂くことを願っております。

事業紹介 今年度もコロナのために集合型の行事は開催できませんでしたが、7月17日には、卒業生である林家染二師匠によるZoomを利用したオンライン講演会「落語から学ぶ、笑顔のコミュニケーション」を開催。12月19日には、現役学生向、直接支援事業として、法学部との共催事業「OB・OGによる公務員懇談会」を開催。地方自治体や国家公務員として働く20代から50代までの法学部卒業生が学生からの質問に答える形式で、受験時の試験勉強の思い出から現在の仕事の実態まで本音で語る懇談会を開催しました。参加した学生からは、複数のOB・OGの方から様々なお話を聞くことができた大変好評を得ました。次年度以降も、コロナの様子を見ながらになりますが、リアルとオンラインの行事を開催してまいります。また、先送りになっている法学部同窓会50周年記念事業についても可能性を探っていききたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



オンライン落語会
「落語から学ぶ、笑顔のコミュニケーション」



法学部共催事業
「OB・OGによる公務員懇談会」



HP



Facebook



LINE

理工学部同窓会



理工学部同窓会会長
木林 哲正
1994年卒業

会長挨拶 理工学部は、1989(平成元)年に滋賀県大津市瀬田学舎に開設された、日本の仏教系大学では初めての自然科学系の学部です。情報化と国際化が著しい現代において、科学と人間の調和を最も重視し、技術の高度化のみならず精神文化の豊かさに対し貢献できる科学技術者の育成を教学の理念としています。理工学部同窓会は1993年に発足、29年目を迎え、会員数は1万6千人を超えました。私たちは、龍谷大学の益々の発展と会員の明るい未来のために、理工系の特色を活かした活動を展開して参ります。今後とも、皆様のご指導・鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

事業紹介 理工学部同窓会は、理工学部同窓生相互のネットワークを拡大し、各同窓生の人脈形成に活かすことを目的として、2019年6月29日に理工学部同窓会設立25周年記念イベントを開催致しました。当記念イベントでは、経営コンサルタントの小宮一慶氏の記念講演及び一般企業で活躍する同窓生の講演や同窓生同士の名刺交換会及び懇親交流会を行いました。



設立25周年記念イベント(2019年度)

社会学部同窓会



社会学部同窓会会長
荒川 林太郎
1993年卒業

会長挨拶 社会学部同窓会では、校友会活動の充実と母校の発展を願い、卒業生の相互の交流を図るため、卒業式の後に開催する新入会員歓迎会の開催や、ゼミ同窓会活動等への助成、ホームページ等による情報発信に取り組んでまいりました。大切な時をともに過ごした仲間との絆が互いを支え、新たな道を切り開く力となることを願って、活動の充実に努めて参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

事業紹介 瀬田学舎開学30周年記念事業に協賛し、卒業生同士はもちろん現役生とも交流の機会とすることができました。

今後は社会学部同窓会創設30周年に向けて、会員の皆さまの協力のもと、記念事業等の展開を予定しております。

ゼミ同窓会活動等への補助制度も設けておりますので、同窓会等の際にはご活用ください。



社会学部 名刺交換会(2019年度)

国際学部同窓会



国際学部同窓会会長
小野寺 理恵
2019年卒業

会長挨拶 国際学部同窓会(旧:国際文化学部同窓会)は、2019年3月より国際学部卒業第一期生を中心とした運営体制になりました。これからも龍谷大学の発展と卒業生同士のつながりを広く深くすることを目的に活動をしていきます。今後とも、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業紹介 国際学部同窓会がこれまで実施してきた事業には、「新入会員歓迎祝賀会(卒業パーティ)の開催」があります。今後についてはこれまでの事業も継承しつつ、国際学部同窓会ならではの新たな活動を発信して参りますので、皆さんのご参加をお待ちしております。



新入会員歓迎祝賀会(2019年度)

政策学部同窓会



政策学部同窓会会長
田中 友悟
2017年修士課程修了

会長挨拶 政策学部同窓会は、2015年に設立された比較的新しい同窓会です。幅広い領域の学問を学び、それらを重ね合わせる政策学的思考を活かして、チーム政策の更なる発展と、持続可能な社会への貢献を目指した活動を展開しております。政策学の実践や理論を起点に、学部や大学の垣根を超えた多くの人々と共に、これからの公共性を探求して参りますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業紹介 同窓会のもつ一番の価値は、社会のための学問を追求し続ける教職員の方々と、多様なキャリアを歩む卒業生とのネットワークです。これからも社会課題の解決と新しい問題設定を諦めない人たちのコミュニティを育てていきたいと考えています。2020年からは、教授や卒業生による実践や研究を学ぶトークイベント「RYUSEI HOME COMING」や、WEBメディアの運営と雑誌制作をととした学びの場「問いを深め合うディスカッションメディア syn(シン)」をスタートしました。大学や政策学の枠を超えて、くつなぎ、ひきだすの先に生まれる価値を探索していければと思います。



卒業生の知見・スキルでつくる
学びのコミュニティ

農学部同窓会



農学部同窓会会長
畑 雄一郎
2019年卒業

会長挨拶 農学部同窓会は、2019年に設立されました。本学農学部は、「食の循環」から農をとらえ、地球的課題の解決を図ることを目指しています。農学部の一期生として積極的かつ進取の精神を持って、農学部同窓会および龍谷大学校友会を盛り上げていきたいと考えています。今後とも、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業紹介 これまで、新入会員祝賀歓迎会や農学部ホームカミングデーを開催してきました。2022年も引き続き、卒業生と現役生が互いに協力し合える土壌を築いていきます。

今後の同窓会の活動は、SNSで発信していきます。是非、ご覧ください。

Twitter (@ruagr_dousoukai)

Facebook (@ruagr.dousoukai)

LINE (QRコード参照)



LINE



新入会員歓迎祝賀会(2019年度)

校友会支部一覧

①支部長名(卒業年、卒業学部)
②会員数 ③設立年
④メッセージ ⑤お問い合わせ先
※情報は2022年2月現在

地域支部

北海道支部

①海野英爾(69・文)
②123名 ③1976年
④建学の精神「生かされている」真理と感謝、そして「生かされる社会」の創造を目指します。会員募集に際しては「得」「徳」「禿」の三トクを研究中。
⑤石井伸和(事務局長)
☎080-3156-8484
✉ipi-ishii@par.odn.ne.jp

東北支部

①山田三男(66・演)
②84名 ③2014年
④校友が勤務する企業の招待が急遽あり、楽天イーグルスの試合を観戦しました。今年は皆で応援しに行きましょう!!
⑤鎌倉公順(事務局長)
☎0198-23-4614

東京支部

①大原延恵(85・文)
②3,091名(東京・千葉・埼玉・茨城・栃木・群馬)
③2005年10月(関東支部発足は1987年)
④多様性と緩やかな繋がりを念頭に活動。新会員歓迎会、総会、交流会、龍Ron小町イベント、スポーツ全国大会応援などを開催しています。
HP(<http://www.ryukoku-tokyo.info/>)
✉info@ryukoku.koyukai.tokyo.info@gmail.com

神奈川県支部

①越岡孝年(88・法)
②887名 ③2005年
④6月に支部総会、8月に暑気払い、12月に望年会を開催。今後はご近所校友ミーティングも開催の予定です。継続した学びを互助できるネットワーク作りをめざします。
⑤越岡孝年(支部長)
✉phst1835@gmail.com
☎03-3201-2751(龍谷大学東京オフィス内)

愛知県支部

①中島靖則(79・法)
②127名 ③2006年
④新春懇親会、支部総会、ゴルフコンペ、納涼会、女子会(ランチ等1~3回)、忘年会と皆様が集まれるイベントを企画しています。懇親会を深めるチャンスは多いので皆様のご参加をお待ちしています。
⑤石川清登(事務局長)
✉ryukoku1639@gmail.com

富山県支部

②664名 ③1982年
⑤星 暢(事務局長) ☎090-3943-7366

石川県支部

①松浦顕雄(83・文)
②300名 ③2011年
④春の観桜会、夏の新卒生歓迎会、秋の総会・懇親会、時により落語会・文化講演会、冬には忘年会など会員の交流に力を入れています。他の支部との交流も歓迎しています。見所満載の能登・加賀・金沢にお越しください。また、校友の企画するイベントには、ボランティアとして参加しています。気軽に下記までご連絡ください。⑤松浦顕雄(支部長) ☎090-3766-5883

福井県支部

①藤原有仁(75・文)
②266名 ③2014年
④毎年の総会では工夫を凝らした企画を計画し、懇親会はどれも盛り上がっております。スタッフの活動は地道ですが絆は思ったよりも強く、様々な卒業生との交流を目指しています。
⑤馬場正大(事務局長)
☎090-8703-1111
(北陸学園北陸高等学校内)

岐阜県支部

①坂口祐紹(83・文)
②1,296名 ③1992年
④年に1回の総会・講演会では、母校の最新情報や人生の糧になるお話を聴かせていただけてます。また、「三学舎見学ツアー」「奈良文化財巡り」「冬の金沢満喫ツアー」といった特別行事も随時開催しておりますので、お気軽にお問い合わせください。
⑤辻信昭(事務局長)
☎058-262-0231(本願寺岐阜別院内)

滋賀県・中主支部

①石原典之(65・文)
②150名 ③2008年
④設立から10年。牛歩の歩みでしたが、これからもゆっくりしっかり歩んで参ります。滋賀県野洲市のこぐー部という小さな地域支部です。遠慮なくご連絡ください。
⑤木村優(事務局長)
✉neidhart.m.k@gmail.com

京都市支部

①宮城泰年(54・文) ②194名 ③2013年
④春には総会・懇親会、夏にはビアパーティー、秋には龍谷ミュージアムでの特別観覧など、行事を通じて会員相互の親睦を深めています。昨年から近隣他支部との交流も図っています。多くの卒業生の皆様の入会をお待ちしております。
⑤中島憲和
✉nakazaki@ad.ryukoku.ac.jp
☎075-351-2500

大阪・枚方支部

①田口敬規(98・文)
②26名 ③2004年
④中核市枚方市の人口40万人の約0.5%が校友です。一人でも多く集える活動になるように、イベントを企画中!
⑤山本雅敏(事務局長)
☎090-8828-0395

大阪・中央支部

①岩本泰典(72・営)
②400名 ③2004年
④毎年津村別院にて、夏には子供工作教室、秋には本町音楽祭をボランティアで開催しています。また、冬には天満天神繁昌亭にて落語会を開催し、地域の皆様との繋がりを深めています。
⑤辻田譲司(事務局長)
☎090-3610-2130
✉tsujita@amami-rikuun.co.jp

大阪・北大阪支部

①浅井純一(73・演)
②333名 ③2010年
④イベント開催を通して校友相互の親睦をはかり、毎年7月末に「茨木フェスティバル」に参加して地元北大阪地域の皆さんに龍大校友会大阪・北大阪支部をPRします。若手と女性の参加を大歓迎しています。
⑤浅井純一(支部長)
☎090-4642-0968

奈良県支部

①上野道善(62・文)
②248名 ③2001年
④毎年5~6月に総会・講演会など、秋に親睦交流会を行っています。県内の多くの古刹名所に校友がおられ、会場や講師には事欠きません。他支部との交流も歓迎です。
⑤倍蔵良明(事務局長)
☎090-3267-9929

阪神支部

①渡部恵子(70・文)
②120名 ③2016年
④当支部では、「モダン塾」と銘打ち、常に話題性のある題目を、時には有名な講師を招き、時には学生とのコミュニケーションを通じてOBは勿論、学生との交流を行っています。女性の登録も多く、気軽に参加いただけます。
⑤関本(事務局) ☎06-6208-6668
FAX 06-6208-6665 ☎090-3929-7234
✉info@ryukoku-hanshin.org

兵庫県・姫路支部

①土橋二郎(70・営)
②189名 ③2006年
④やなせなコンサート、林家染二落語会、龍大サークルを招いた懇親会、ゴルフ、旅行、経済・経営学習会等若者から老人まで仲良くやっています。時には仕事の相談も受けちゃいますよ。また、支部設立10周年記念事業では、母校吹奏楽部と地元中学高校の合同演奏会を開催しました。
⑤菅祐範(事務局)
✉suga@mtc.biglobe.ne.jp

兵庫県・神明支部

①井藤圭満(68・文) ②115名 ③2005年
④支部5周年、10周年に明石市民会館大ホールで開催した『龍谷大学吹奏楽部演奏会』が地域の音楽文化に果たした成果は支部の心の支えとなっております。神戸市西区、垂水区、明石市、稲美町、播磨町、古古川市に在住の校友が集い、語り合う神明支部です。
⑤竹野内健児(事務局長)
☎090-4273-9579
✉otakenouchi@hotmail.co.jp

三重県支部

①湯上英臣(78・営) ②143名 ③2005年
④三重県支部は、毎年、6月総会・講演会・懇親会、11月懇親バス旅行、1月新年会をメインに活動しています。今年からはリタイアされた校友が、学部・年代・キャリアの垣根を取り払い、大宮・深草・瀬田の青春時代の思い出を語り合える場創りを目指して活動しています。また、三重県支部・愛知県支部・岐阜県支部が連携して、幅広い校友の輪を広げる活動を行う予定です。
⑤湯上英臣(支部長) ☎090-1747-1929

兵庫県・姫路支部

①土橋二郎(70・営)
②189名 ③2006年
④やなせなコンサート、林家染二落語会、龍大サークルを招いた懇親会、ゴルフ、旅行、経済・経営学習会等若者から老人まで仲良くやっています。時には仕事の相談も受けちゃいますよ。また、支部設立10周年記念事業では、母校吹奏楽部と地元中学高校の合同演奏会を開催しました。
⑤菅祐範(事務局)
✉suga@mtc.biglobe.ne.jp

兵庫県・丹篠支部

①浅田芳生(74・営)
②36名 ③2007年
④丹篠支部は兵庫県丹波市と丹波篠山市の会員で構成しており、古来から京都とは政治・文化ともに交流があります。この交流を踏まえて、地域の未来を皆さんと語って行きたいと思ひます。
⑤芦田淳一(事務局)
✉jandm@nike.eonet.ne.jp
☎090-1952-3549

徳島県支部

①千葉昭彦(69・演)
②125名 ③2000年(再興)
④「龍谷大学の心が世界を救う」の自負心を持って、仲間と共に歩める支部を目指し、龍谷大学の先生による記念講演、旅行など、卒業生で良かったと感じられる行事を開催。徳島県在住、かつて徳島県に居られた校友がお仲間です。
⑤龍谷大学校友会徳島支部
☎088-625-3690 ✉jh5fep@jarl.com

鳥取県支部

①衣笠告也(75・文)
②98名 ③2011年
④毎年、6月頃に総会を開催し、年1回イベントを開催しています。様々な職業の方が集い、若手の会員も増えていますので、まずは気軽にご参加下さい!
⑤西村耕一(事務局長)
☎090-4802-7887

岡山県支部

①野崎元彰(77・文了)
②160名 ③2003年
④毎年開催している総会と懇親会を見直してリアル参加とオンラインでの参加のハイブリット形式で総会そして文化講演会を中心に世代を超えた交流を通じて地域社会に発信して行くことを目的に活動しています。まずは、お気軽にご参加ください。
⑤弥久末祐基(事務局長)
✉okayama.ryukoku.al@gmail.com

島根県支部

①中村滋男(71・演)
②115名 ③2014年
④総会のほか母校を巡る旅行や講演会を行っています。又、女子会には特に力を入れています。県内の校友の皆さん是非支部会員にご登録下さい。
⑤高橋行仁(事務局長)
☎090-9613-0441

福岡県支部

①桑羽隆慈(64・文)
②1,186名 ③1988年
④当県の会員は県内各地に幅広く分散する関係で、県内を東部、周南、中部、西部、北部の5ブロックに分け毎年持ち回りで総会を開催すると共に、会員は卒業と同時に自動入会としています。
⑤久保史生(事務局)
☎083-973-4111(本願寺山口別院内)
HP(<http://ryukoku-hiroshima.info/>)

山口県支部

①桑羽隆慈(64・文)
②1,186名 ③1988年
④当県の会員は県内各地に幅広く分散する関係で、県内を東部、周南、中部、西部、北部の5ブロックに分け毎年持ち回りで総会を開催すると共に、会員は卒業と同時に自動入会としています。
⑤久保史生(事務局)
☎083-973-4111(本願寺山口別院内)
HP(<http://ryukoku-hiroshima.info/>)

福岡県福岡支部

①坪根正武(67・文) ②192名 ③2017年
④福岡県西部を中心とした支部として、2017年6月に発足してから今年で5年目を迎えます。昨年、一昨年とコロナ禍で思うような支部活動ができませんでした。今年はコロナの状況を見ながら、校友の皆様が集える機会を設けたいと考えていますので、皆様のご参加をお待ちしています。
⑤原田智昭(事務局長) ☎092-323-0859
✉ryukoku.fukuoka@gmail.com

香川県支部

①竹中昭宏(76・営)
②164名 ③1999年
④毎年6月には総会、講演会、懇親会を開催、11月には母校見学ツアーもあります。女子会、若手の会のイベントも計画中です。ぜひ、皆さんにお話をしたい、興味を持って欲しい、こんなお話を聞きたい等ご意見がありましたらご連絡下さい。
⑤三野正博(事務局長) ☎090-6881-8838
✉mino.m3105@gmail.com

愛媛県支部(龍愛会)

①西岡和則(73・法)
②585名 ③1999年
④1986年発足、1999年より活動開始、2000年より、毎年9月の第1土曜日に総会・懇親会を行っています。龍大卒業生の異業種交流や、母校の懐かしい話など気軽に情報交換できる場になっています。
HP(<http://ryukoku-ehime.sakura.ne.jp>)
⑤松本正見(事務局長) ☎089-931-5773

熊本県支部

①東正士(1971・演)
②593名 ③2001年
④毎年8月最終金曜日に総会、懇親会、講演会を実施しています。龍大卒業生の親睦を深めると共に熊本県における龍谷大学の認知度アップに努めております。
⑤高千穂哲也(事務局長)
☎096-322-7715

宮崎県支部

①弘中康之(90・文)
②81名 ③2016年
④女子会もはじまり大変盛り上がりしております。今年も会員拡大を目指します!
⑤岩切圭一(事務局長)
☎090-4516-6557

鹿児島県支部

①藤野和人(1991・文)
②400人 ③1983年
④異業種交流会が活発に行われています。様々な職業の方が相集い交流を深めております。今年度から女子会もスタートいたします。まずは気軽にご参加下さい。
⑤本川朋樹(事務局長)
✉kakyou2@hongwanji-kagoshima.or.jp

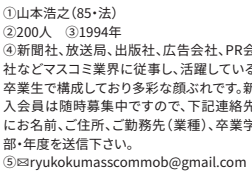
佐賀県支部

①後藤明信(81・文)
②50人 ③2018年
④一昨年9月に発足しました。昨年度はコロナ禍で思うような活動ができませんでした。今年度は家族で参加できる楽しい集いを開催します。
⑤熊谷法明(事務局長)
☎090-4487-9604

①松本エリック(91・文了)
②25名 ③2002年
④Aloha! 毎年春にホノルルにて龍谷大学よりご講師をお迎えしてのセミナー・懇親会、現役学生との交流会など若い会員が中心になり活動を行っております。お気軽にご連絡下さい。
⑤北條朋(事務局長)
✉thojo@honpahi.org

①中村登(72・営)
②28名 ③2002年
④親睦食事会、ピクニックなどで絆をつなぐ。
龍大卒で南カリフォルニアに在住の方、一度
連絡下さい。
⑤中垣紘道(副支部長)
✉ryudai.la@gmail.com

①梅津広道(73・文)
②26名 ③2006年
④アメリカで会員さんと共に日本の文化を楽しんだり、女性会員が楽しめるような活動を心がけています。もちろん、男性も大歓迎です！
⑤桑原ひとみ(事務局長)
☎510-849-1400
✉ichijitsu@hotmail.com



①三島仁志(88・営)
②371名 ③1986年
④紫松会はパナソニックグループの企業に勤めたことのある龍大卒業生で構成され皆で楽しめる催しを定期的に行い交流しています。若手会員も活発に活動していますのでぜひご参加ください。
⑤芝田正男(事務局長)
✉shishoukai-sec@googlegroups.com

① 邑川和之(92・営)
② 28名 ③ 1984年
④ 本支部は、会員相互の親睦を図ることを目的として設立された職域支部で、毎年2月に総会、11月に京都散策を実施し、若手会員が半数を占め、OB・OGも参加するアットホームな支部です。
⑤ 高見恒治(事務局長)
☎090-2599-7674

①藤原資雄(83・法)
②71名 ③1991年

①尾崎春樹(71・営)
②149名 ③1983年
④現役学生を対象に、税理士・公認会計士業務説明会、日商簿記講習会、講演会、交流会等を開催。また、RAS会員と卒業生を対象に、7月と11月に実務研修会、会員相互間の親睦会も年2回実施。
HP(<http://www.ryukoku.ac.jp/ras/>)
⑤尾崎春樹(支部長) ☎075-645-1601

①池田正眞(74・文)
②235名 ③1997年
④刑務所・拘留所・少年院・少
護観所・更生保護施設・保護
現職及び退職OBの会員で構成
総合センターと密接に関連し
向上や現職職員への支援を行
友会発展に寄与。2019年に女
ました。
⑤中村眞一
✉sakurasin2016@gmail.com

①会長職務代理 岡橋聖舟(1970・文)
②103名 ③2001年
④私たはいつに加害者や被害者になっ
てしまうかわからない。そうなれば、「苦しみや悲
しみ」を味わって生きていくことに。刑務所
〔少年院〕で話し相手(パートナー・支えてくれ
る人)となすのが「教護師・篤志面接委員」で
す。刑務所を参観希望の方はご連絡下さい。
『百問は一見にしかず』(人生観が変わります)
⑤木本和行(事務局長)
✉crew-kaz.savaka35@ezweb.ne.jp

① 竹下義樹(75・法)
② 79年、③ 2014年
④ 毎年秋に深草キャンパスで総会、懇親会を開催。RAS、龍志会など他支部との交流、西本願寺等における法律相談、法学部との連携によるキャリア啓発支援の講義なども実施。身近な法律家として頼りにして下さい。
⑤ 坂口俊幸(事務局長) ☎075-256-0525
✉st.sakaguchi2010@gmail.com
(坂口俊幸法律事務所内)

①佐古田英樹(99・文)
②540名 ③2015年
④教団会は、龍大を卒業し幼、保、小、中、高校等の教員(保育士)として活動している人などで構成しています。総会や機関誌で各自の実践を交流し、つながりを深めています。
⑤佐古田英樹(支部長)
✉kyoryukai2013@yahoo.co.jp

①泉千晶(89・法)
②99名 ③2017年
④龍大卒業の絆を生かし相互発展的な士業
間連携を目指します。相談会や講演会、学生
へのキャリア支援等の活動を展開し、社会貢
献、母校の発展にも寄与してまいります。
⑤浅尾一真(事務局長)
☎090-3276-6102

この支部通信を今後も育成、発展させていくにはメンバー一人ひとりがとにかく小さな情報でも無視する事なく、普段の常とは少し違いがあると感じたなら出来るだけ支部の広報担当者にその事を伝えることだと考えています。



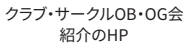
支部の会報は
校友会のHPから
ご覧いただけます。

校友会では、卒業後にもサークルやクラブ単位でイベントの告知をできるように、ホームページに「クラブ・サークルOB・OG会」紹介のコンテンツを用意しています。

掲載希望のOB・OG会がありましたら、随時募集しておりますので、校友会事務局までお問合せください。

学術文化局、体育局だけではなく、委員会や一般同好会も掲載可能です。

お問合せ先: koyu@ad.ryukoku.ac.jp



ESS、写真部、映画研究部、龍吟会、軽音学部、
混声合唱団ラポール、マンドリンオーケストラ(弦友会)、
釣研究会(龍釣会)、吹奏楽部、野外活動部(豊島会)

端艇部(藤紫会)、相撲部、アイススケート部、合気道部、ハンドボール部、ソフトテニス部、硬式庭球部、洋弓部、航空部、サッカー部、ラクロス部
〔委員会〕
創立記念降誕会実行委員会

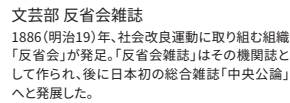
これからは日本伝統文化の継承と発展をめざし
学生達と歩調を合
わせがんばってい
きたい。



龍谷大学のサークルの中には長い歴史を有するものがあります。最も古いものでは、創部から134年のあいだ受け継がれてきたものもあります。ここでは、全83団体(2021年後期現在、他認定の一般同好会は約150団体)あるサークルのなかから創部100年以上のものをご紹介します。

1	文芸部	1886年(明治19年)	創部 136年(反省会雑誌・中央公論関連)
2	能楽部	1907年(明治40年)	創部 115年
3	邦楽部	1910年(明治43年)	創部 112年

1	端艇部	1895年(明治28年)	創部 127年	へ き りゅう び しゅう ちん は 日置流尾州竹林派
2	柔道部	1903年(明治36年)	創部 119年	
3	硬式野球部	1913年(大正2年)	創部 109年	
4	卓球部	1913年(大正2年)	創部 109年	
5	相撲部	1914年(大正3年)	創部 108年	
6	弓道部	1920年(大正9年)	創部 102年(那須与一ゆかり)	



柔道部
「文学部昭和7年卒業アルバム」より

※弓道部は、流派として、「日置流尾州竹林派」(ヘキリュウビシユウチクリンハ)と言い源平合戦・屋島の戦いで有名な「那須与一」の流派を継いでいる。現在、この流派を継続しているのは、国内では龍谷大学と佛教大学のみである。

校友会の主な事業

※過去の写真を掲載している場合があります。

新入会員歓迎祝賀会

卒業式・修了式後に、校友会と各学部同窓会共催で新卒者を対象とした新入会員（校友会会員）歓迎祝賀会を開催しています。

※2019年度～2021年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。



ふるさとタイム

毎年4月に近畿圏以外の新入生を対象に、同郷出身の新入生同士が交流できる場として開催しています。学部を越えてグループに分かれ、地域によっては卒業生も加わり、故郷を離れて大学生活を送る新入生にこれからの学生生活等について様々なアドバイスをしています。

※2019年度～2021年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。



ホームカミングデー

秋の龍谷祭・学術文化祭開催時に「ホームカミングデー」を実施しています。卒業生が懐かしい母校を訪問する機会となるよう、旧友や先生方と交流できる教室を開放するほか、当日は卒業生に、学生が運営する模擬店の「利用券」をプレゼントしています。また、卒業生向けのさまざまなイベントも開催しています。※2021年度は、「ホームカミングデー」と題し、卒業生や先生による講演の動画コンテンツを期間限定でホームページ上で配信しました。



2021年度オンラインホームカミングデー



龍谷賞贈呈式

龍谷大学校友会会員の意識を高め、励みとなるよう、社会に貢献または顕著な業績をあげた方を顕彰しています。1990年から始まった龍谷賞は、2021年に32回目を迎えました。

2021年度受賞者

龍谷賞	ふるやしょうかく 古谷 正覚	聖徳宗第7代管長 第130世 法隆寺住職	1971年 文学部卒
龍谷奨励賞	みきとしかず 三木 俊和	有限責任事業組合まちとしごと総合研究所 共同代表 京都市伏見いきいき市民活動センター センター長	2012年 法学研究科了
	せがわかずまさ 瀬川 和正	鳥取県スポーツ協会、東京2020オリンピック出場	2014年 経済学部卒
龍谷特別賞	みよしよしかず 三好 嘉一	尺八演奏家 芸名：三好 荒山	1968年 経済学部卒

2020年度受賞者

龍谷奨励賞	のださよ 野田 沙良	認定NPO法人アクセス 共生社会をめざす地球市民の会 事務局長	2003年 国際文化学部卒
龍谷特別賞	ふじおかこうきょう 藤岡 孝教	浄土真宗本願寺派明導寺前住職・講道館柔道8段 全日本柔道連盟公認形審査員・熊本県柔道協会顧問 人吉農芸学院宗教教諭・本願寺派布教使・保護司	1986年 文学部卒
	かわごえそういち 川越 宗一	作家(第162回直木三十五賞 受賞)	

校友会賞贈呈式

在学生支援として、課外活動などで顕著な成績を上げ、母校発展の気運を盛り上げた在学生（個人・団体いずれも対象）に対して、その功績を称え、表彰しています。

2021年度受賞者 ※学年は全て2020年度時

団体	体育局男子バスケットボール部	代表：しもはた りょうへい 下畑 両平	経済学部 4年
	文学部 先輩ズ	代表：なかむら ほだか 中村 穂高	文学部 3年
個人	こばやしはつね 小林 初音	ボランティア・NPO活動センター 学生スタッフ	国際学部 2年
	なかむらかの 仲村 果乃	体育局 ゴルフ部所属	経済学部 1年
	たけだりょうこ 武田 亮子	体育局 柔道部所属	経営学部 4年
ペア	すえ たに すなお 末谷 朴	体育局 バトン・チアSPIRITS所属	農学部 4年
	ほら だ 原田 ひかり	体育局 バトン・チアSPIRITS所属	社会学部 4年



2021年度龍谷賞



2021年度校友会賞

校友音楽祭

校友会館にてOB・OGによるバンド演奏のほか、現役学生の演奏・演舞で構成する音楽祭を行っています。2019年度は、卒業生、一般の方を含め約300名(出演者含む)が参加。最後には出演者全員での「ヤングマン」の演奏に参加者も踊り、歌い、会場が一つとなりました。また当日は、“お子さまが遊べるスペース”を設置し、野外活動部が運営をしました。

なお、2021年度は、コロナ禍において下記の団体が出演し、ライブ配信を行いました。

<2021年度出演団体>

- OB・OG会
 - 「みやがわひろゆき&BraT's」 軽音楽部OB・OG
 - 「Yellow Note」 黄トマOB・OG
- 学生団体
 - 華舞龍
 - 学術文化局吹奏楽部



龍谷大学 心の講座

2014年度から毎年龍谷大学 響都ホール 校友会館で開催しています。各方面でご活躍の講師の方々に、ご講演をいただいています。2021年度は一部ライブ配信やオンデマンドによる配信を行いました。



2022年度 龍谷大学 心の講座スケジュール

4月30日(土)	そのままの救いー浄土真宗の世界ー お話とコンサート 「悲しみの先にかれる世界」	井上 見淳 氏 やなせ なな 師	龍谷大学社会学部淳教授 僧侶、歌手
5月28日(土)	対談「間(あわい)を生きる ー時と時、文化と文化、人と人ー」 仏教者の平和課題 ー「怨親平等」・「兵戈無用」ー	川越 宗一 氏 安藤 徹 氏 広瀬 卓爾 氏	小説家(2019年下半年直木賞 受賞) 龍谷大学副学長、龍谷大学文学部教授 佛教大学名誉教授、浄土宗平和協会理事長
6月25日(土)	白鳳文化への誘(いざな)い 水俣病から今、学ぶべきこと	加藤 朝胤 師 アイリーン・美緒子・スミス 氏	法相宗大本山薬師寺管主、龍谷大学文学部特別講師 NGOグリーン・アクション代表、環境ジャーナリスト
7月23日(土)	現代社会の中の仏教 人口減少社会をどう生き抜くか ーSDGsと私たちの暮らしー	佐々木 閑 氏 深尾 昌峰 氏	花園大学文学部教授 龍谷大学政策学部教授
9月17日(土)	疫病と災害と仏教 ー「不安」と向き合った僧侶たちー 演目は当日のお楽しみ	長谷川 岳史 氏 桂 優々 氏、雷門 音助 氏	龍谷大学経営学部長、龍谷大学経営学部教授 龍谷大学校友会学術文化局落語研究会出身の落語家

全国支部長会

毎年校友会では、国内外の支部から支部長や事務局長などが集まる、全国支部長会を開催しています。2020年度からは新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンラインで開催をしています。総勢50名がオンライン上で集まり、校友活動に対して積極的な意見交換を行いました。



2019年度



2021年度

龍谷大学校友会女子会

ロンロン
龍Ron小町



全国各地・海外でも、龍Ron小町らしく楽しい、ためになるイベントが開催されています。2021年には、龍Ron小町初の試みとして、オンラインイベントを開催しました。オンラインイベントは、3つの動画コンテンツを期間限定でホームページ上に公開し、多くの卒業生に視聴していただくことができました。各地でもオンラインを活用した各種イベント(消しゴムハンコ教室や、築地本願寺ツアー等)が開催されています。龍Ron小町は、2023年に設立10周年を迎えます。今後も様々なイベントを企画してまいりますので、ぜひ校友会HPや龍Ron小町公式LINEからご確認ください。龍大卒業生ならではの特別な体験を一緒に楽しみましょう！



2014年に発足いたしました、龍Ron小町(卒業生の女子会)では今後も、龍谷大学卒業生ならではの様々なイベントを開催していく予定です。イベント情報などは、公式HPやLINEでお知らせします。

龍Ron小町 HP



龍谷大学校友会女子会 「龍Ron小町」の公式LINE



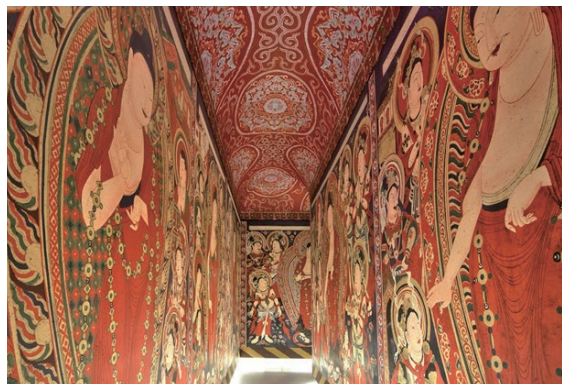
校友会員向けサービス

龍谷ミュージアム

世界文化遺産・西本願寺の向かい側にある龍谷大学が開設した仏教総合博物館です。仏弟子たちのすがたを個性豊かなエピソードと共にご紹介する春季特別展、岡山ゆかりの貴重な文化財をわかりやすくご紹介する企画展、明治から昭和戦前期に京都で開催、開設された展覧会や博物館をテーマとする秋季特別展を開催します。

校友会員の方は、「校友会報」(年2回発行)にあるご優待券をお持ちいただきますと、同伴者を含め2名様まで無料で入館いただけます。是非、ご来館ください。

※新型コロナウイルスの感染状況により、予定を変更することがあります。最新の情報は龍谷ミュージアムHPでご確認ください。



ベゼクリク石窟大回廊復元展示 撮影：東出清彦

お問い合わせ 龍谷ミュージアム TEL:075-351-2500 京都市下京区堀川通正面下(西本願寺前)
E-mail:muse@ad.ryukoku.ac.jp HP:https://museum.ryukoku.ac.jp/ Twitter:@ryukokumuse

2022年度 龍谷ミュージアム開館スケジュール

2022年4月23日(土)～2022年6月19日(日)	春季特別展「ブツのお弟子さん ー教えをつなぐ物語ー」
2022年7月16日(土)～2022年8月21日(日)	企画展「岡山・宗教美術の名宝Ⅲー岡山の浄土教美術ー」(仮称)
2022年9月17日(土)～2022年11月23日(水・祝)	秋季特別展「博覧ー近代京都の集め見せる力ー」 初期京都博覧会・西本願寺菟覧会・仏教児童博物館・平瀬貝類博物館

※設備改修工事のため、2022年11月24日～2023年3月末まで休館いたします。



図書館利用について

卒業後も大学の図書館を利用いただけます。

定期的な利用をご希望の際には、事前に登録が必要です。

■登録した場合のメリット

- ・図書館利用証(翌年3月末日まで有効)を発行します。
- ・開館時間内であれば自由に入館できます。
- ・図書が借りられます。
- ・深草・大宮・瀬田のいずれの図書館も利用できます。



申請書のダウンロードはこちらから

■登録の手順

1. HPより「龍谷大学卒業生図書館利用登録申請書」をダウンロードの上、必要事項をご記入いただき、図書館カウンターへご提出ください。(図書館カウンターにもご用意しております。)

登録の際は、必ず①②をご用意ください。

- ①本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)
 - ②図書館利用証発行手数料660円(税込)(初回時のみ。更新時は不要)
- ※各キャンパスに設置されている証明書発行機で購入手続きが必要です。

2. 申請者控をお渡しします。

3. 図書館利用証は、およそ14日間で出来上がりますので、それ以降ご来館の際に、申請者控と引き換えにカードをお渡しします。

※申請者の集中する4月等はカード発行までさらに日数が必要となる場合があります。

※図書館利用書の郵送、代理人による申し込みや利用証の受け渡しはできません。

■問い合わせ先

大宮図書館 TEL:075-343-3462
深草図書館 TEL:075-645-2564
瀬田図書館 TEL:077-543-7751



大学で結婚式を挙げる

校友ご本人は、3キャンパスの礼拝堂(大宮:本館、深草:顕真館、瀬田:樹心館)にて、結婚式を挙げるができます。

龍谷大学での結婚式は、「仏前結婚式」で浄土真宗本願寺派の作法にしたがっておこなわれます。龍谷大学のキャンパスで挙げる厳かな結婚式は、これからともに歩まれるお二人にとって、人生の大切な宝物になることでしょう。

浄土真宗では挙式日の吉凶など、いっさい問題にしませんので、列席される人が集まりやすい日などを中心に、大学の授業や学内行事等と重ならない日取りを決めていただきます。

お問い合わせ

龍谷大学宗教部
TEL:075-645-7880
E-mail:syukyobu@ad.ryukoku.ac.jp

ご結婚祝電サービス

校友ご本人の結婚披露宴に、龍谷大学学長、校友会会長名で2通の「祝電」をお届けしています。

祝電をご希望される方は、挙式当日の1週間前までにご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ 校友会事務局 TEL:075-645-2015
E-mail:koyu@ad.ryukoku.ac.jp



龍谷大学校友会員優待特典

龍谷大学の校友会員のみなさま向けの特典や優待をご用意しております。

ご利用には、校友会HPより「優待特典ご利用券」をダウンロードする必要があります。詳細については下記のQRコードから校友会HPでご確認ください。

＜龍谷大学校友会員特典一例＞

- ・京都タワー
- ・京都タワーホテル
- ・アーバンホテルグループ
- ・京都東急ホテル
- ・琵琶湖ホテル
- ・ホテル京阪 京都グランデ
- ・グランドプリンスホテル京都
- ・都ホテル 京都八条
- ・琵琶湖汽船
- ・ザ・プリンス宝ヶ池



※新型コロナウイルス感染拡大への対応として、

サービス内容・時間等の変更が生じている場合がございます。

詳しくは各施設のホームページをご確認ください。

成就館

2020年4月、旧校友会館跡地に成就館が誕生しました。350名、150名規模の2つのホールの他、会議室として利用できる部屋などが整備されております。

また、1階には「Café Ryukoku &」が併設されています。

今後は卒業生や一般の方にもご利用いただける予定です。

詳しくは龍谷大学ホームページでご確認ください。



※2022年2月末現在



卒業後の就職支援

龍谷大学では本学卒業生を対象に、より充実した就職支援を行うため、外部業者と連携し、「卒業生就職支援センター」を設けています。卒業生就職支援センターでは、マンツーマンによる個別カウンセリングを基本としたサポートを行うことで、卒業生が主体的に就職活動に取り組めるよう支援しています。ご利用にあたっては、各キャンパスのキャリアセンターまたは大阪梅田キャンパスのいずれかで登録が必要になりますが、近畿圏外に在住されており、ご来訪が困難な方は、郵送にてお申し込みいただけます。※お申し込み後、登録が完了しますと、「龍大就職ナビ(龍ナビ)」での既卒求人検索(卒業後1～5年程度の方が対象)などもご利用いただけます。なお、個別カウンセリングについては、オムロンエキスパートリンク京都駅前オフィス「龍谷大学卒業生就職支援センター」で行っています。※

※新型コロナウイルス感染症への対応について(2022年2月現在)
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、近畿圏に在住の方を含むすべての方について、郵送でのお申し込みを推奨しております。また、個別カウンセリングについても、新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じてオンラインや電話にて行う可能性がありますのでご了承ください。最新の情報は、「龍谷大学卒業生就職支援サービス」のホームページにてご確認ください。

お申し込みの際にご用意いただくもの

運転免許証・健康保険証などの身分証明書

お問い合わせ

龍谷大学キャリアセンター(深草)

TEL:075-645-7878

受付時間:月・水～金/9:00～17:00、火/10:45～17:00

龍谷大学キャリアセンター(瀬田)

TEL:077-543-7735

受付時間:月・水～金/9:00～17:00、火/10:45～17:00

龍谷大学キャリアセンター(大宮)

TEL:075-343-3484

受付時間:月・水～金/9:00～17:00、火/10:45～17:00

E-mail:career@ad.ryukoku.ac.jp(深草・瀬田・大宮)

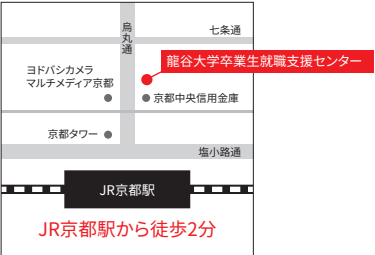
龍谷大学大阪梅田キャンパス

詳細は下記「証明書の発行」をご参照ください。

個別相談

オムロンエキスパートリンク(株) 京都駅前オフィス内

(京都市下京区烏丸通七条下ル ニッセイ京都駅前ビル7F)



証明書の発行

卒業生は、それぞれの出身学部教務課窓口・郵送・オンラインにて申請手続きを行ってください。
※申請手続きには運転免許証や健康保険証などの身分証明書が必要となります。
※詳細は大学のホームページでご確認ください。

お問い合わせ

[深草・大宮]

文学部教務課[文学部・同研究科・実践真宗学研究科]

TEL:075-343-3317

経済学部教務課[経済学部・同研究科]

TEL:075-645-7894

経営学部教務課[経営学部・同研究科]

TEL:075-645-7895

法学部教務課[法学部・同研究科]

TEL:075-645-7896

国際学部教務課[国際学部・国際文化学部・同研究科]

TEL:075-645-5645

政策学部教務課[政策学部・同研究科]

TEL:075-645-2285

短期大学部教務課[短期大学部・専攻科]

TEL:075-645-7897

[瀬田]

先端理工学部教務課[理工学部・同研究科]

TEL:077-543-7730

社会学部教務課[社会学部・同研究科]

TEL:077-543-7760

農学部教務課[農学部・同研究科]

TEL:077-599-5601

大阪梅田キャンパス・東京オフィスでの発行

申請手続きは大阪梅田キャンパス・東京オフィスにおいても可能です。その場合は申請の受付のみを行い、後日学部教務課から郵送いたします。(受付時間によっては、翌営業日の取り扱いになります。オンライン申請も可能ですのでご活用ください。)
また、2013年3月以降に卒業・修了された方は大阪梅田キャンパス・東京オフィスにおいても即日発行できる証明書があります。(いずれも和文のみ)
※申請手続きには運転免許証や健康保険証などの身分証明書が必要となります。 ※詳細は大学のホームページでご確認ください。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、変更となる場合があります。

龍谷大学 大阪梅田キャンパス

TEL:06-6344-0218

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2

ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階

E-mail:osakaumeda@ad.ryukoku.ac.jp

開室時間:月～金/10:00～18:00



龍谷大学 東京オフィス

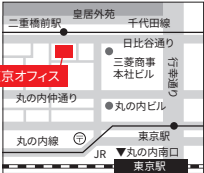
TEL:03-3201-2751

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目2番1号

岸本ビルディング11階

E-mail:ryutokyo@ad.ryukoku.ac.jp

開室時間:月～金/9:00～17:00



校友会ホームページ

校友会に関するあらゆる情報を掲載しています。
また、各支部の案内や校友会のイベントも掲載していますので、ぜひご覧ください。
連絡先に変更があった場合も、ホームページから手続きを行ってください。



校友会報

年に2回(春・秋)発行し、校友会や龍谷大学の情報をお伝えしています。
2015年度卒業生からはデジタル配信でご覧いただけるようご案内しております。メールアドレスを登録されていない方は、こちらから手続きを行ってください。
また、校友会報はバックナンバーを含め、ホームページからもご覧いただけます。



メールアドレスご登録は
こちらから



バックナンバーは
こちらから



龍谷大学校友会報94号

校友会の公式SNS

同窓会に関するイベント情報や龍谷大学の様子を各種SNSで発信しています。ぜひご登録をお願いします。

facebook



Instagram



Twitter



LINE



YouTube



龍谷大学について

龍谷大学歴代学長

学寮 時代				
学寮 能化(学長)	河内国	光善寺	准玄	1640年～1647年
学林 時代				
初代 能化(学長)		永照寺	西吟	1647年～1663年
二代 能化(学長)		光隆寺	知空	1663年～1718年
三代 能化(学長)		正崇寺	若霖	1718年～1735年
四代 能化(学長)		正崇寺	法霖	1736年～1741年
五代 能化(学長)		円満寺	義教	1755年～1768年
六代 能化(学長)		実明院	功存	1769年～1796年
七代 能化(学長)			智洞	1797年～1805年

※1805年～学林改革に伴い、能化を改め、「**勸学**」職を複数設け、勸学・知事・助教職が集団指導体制で講義を維持継続する。
1883年～学制改革により、勸学6名、司教20名、輔教50名、その他、助教(定員なし)を設け、代表を「主座勸学」とする。

大学林 時代		
八代 総理(学長)	足利 義山	1898年～1899年
九代	赤松 連城	1899年～1900年

仏教大学 時代		
初代 仏教大学学長	赤松 連城	1900年～1902年
二代	小山 憲榮	1902年～1903年
三代	武田 篤初	1903年～1904年
四代	伊井 智量	1904年～1905年
五代	蘭田 宗恵	1905年～1912年
六代	足利 瑞義	1912年～1915年
七代	蘭田 宗恵	1915年～1921年
八代	鈴木 法琛	1921年～1922年

※1922年(大正11年)5月、名称を「龍谷大学」に改める。

学歌

龍谷大学学歌は、1933(昭和8)年に学歌作製委員会(学生代表2名・大学院研究科代表2名・教授2名)が歌詞を公募し、作曲は当時世界的に有名であった山田耕柝氏に依頼しました。
山田耕柝氏は、「からたちの花」「この道」などが有名ですが、旧制大学の学歌も多く作曲しており、龍谷大学の他、同志社・関西学院・関西大・一橋大(創立順)なども山田耕柝氏の作曲です。
山田耕柝氏は晩年に「自分は各地の校歌というものを随分沢山作曲(一説には3,000曲以上)しているが、その中で、心を込めて作り、自信のあるものが三つある。その一つが龍谷大学の学歌である」と語っておられました。
(1960年頃 山崎昭見 元校友会長がご本人に直接伺う)



1.

永久に揺がぬ みのり聞き
寄する思想の 波しずめ
久遠の光 まどかなる
真理の大樹 栄ゆけば
見よ黎明の 空澄みて
吾等が学府 光輝あれ
2.

仰げば高き 雪山の
姿をうつす 御教に
おもいをはせて たゆみなく
心をみがく 幾千の
同信の友 相集う
吾等が学府 光輝あれ
3.

世運の流れ 遷るとも
正法萬古 変わりなし
公孫樹の蔭に 法幢を
真心こめて 守りゆく
若き学徒の 相集う
吾等が学府 光輝あれ



作詞 学歌作製委員会
作曲 山田 耕柝
1933(昭和8)年制定

龍谷大学は、1639(寛永16)年に創設され、2019年には380周年を迎えました。

龍谷大学創設の時代

龍谷大学が創設された1639(寛永16)年は、豊臣家滅亡の「大坂夏の陣」から24年後、「関ヶ原の戦い」から39年後、徳川幕府が外国との接触を断つ「鎖国が完成した年」でもありました。
そんな江戸時代初期・三代将軍徳川家光の時代に京都・本願寺境内地に学寮として創設されました。
江戸時代初期の学寮から学林となり、以後も数次に亘る教学の改革に取り組み、特に1867(慶応3)年には学林大改革に向けて建議を興し、1872(明治5)年～1874(明治7)年、赤松連城らをヨーロッパ(英仏両国)に留学派遣し、その後の大教校→大学林→仏教大学→龍谷大学へと変革の近代化を図りました。

知を広く社会に伝える

1872(明治5)年は、欧米語学などの一般教養の講義が開始され、1887(明治20)年7月からは後に『中央公論』の母体となる『反省会雑誌』を創刊し、1897(明治30)年にはその英語版も発刊。その後『伝道会雑誌』や『海外仏教事情』などの発刊に続いていくことになります。

大宮キャンパス本館が誕生

1879(明治12)年に落成した大教校講堂(現大宮学舎本館・重要文化財)は、西日本最初で最大の洋館として海内無比と称され、翌1880年7月、この本館に明治天皇を迎えました。

発展、そして挑戦

1680(延宝8)年には70名であった学生数が、1856(安政3)年には250名を超えました。出典：『龍谷大学三百五十年史』
また、中央アジア西域・シルクロード踏査チーム「大谷探検隊」には、1902(明治35)年から12年間3次に亘り、多くの龍谷大学関係者が参画しました。

受け継がれていく絆

2021年4月現在、京都市・大津市の3キャンパスに9学部、10の大学院研究科、併設する1短期大学を併せて在学生約2万名を擁しています。
校友会の支部は、56の支部(地域38支部、海外3支部、職域15支部)があり、卒業生総数は19万5千人に及びます。



昭和31年当時の大宮学舎全景

ご存じですか？
龍谷大学って実は…

大宮キャンパスは重要文化財の宝庫

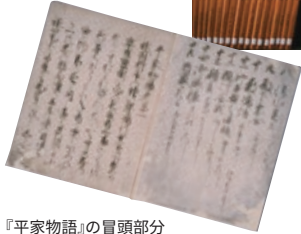
大宮キャンパスの「本館」「北ほつこう覺」「南なんこう覺」「渡り廊下」「門扉」「旧守衛所」は1879(明治12)年2月に建築されたもので、1964年と1998年(追加)に国の重要文化財に指定されました。これらの建物が残る大宮キャンパスは「重要文化財建築群」を形成しており、また、隣接する西本願寺はUNESCOの「世界文化遺産」にも指定されています。この建築群は、建築学的にも価値が高く、キングポスト工法や石貼り工法など当時の最先端技術を駆使した巨大建造物であったことでも注目されています。日本の有名建造物である東京・鹿鳴館(1883年完成、現存せず)や国立博物館(1895年完成)、日本銀行東京本店(1896年完成)など(いずれも重要文化財)も、龍谷大学よりも後の建築です。「重要文化財建築群」の中で日常的に授業が続けられている大学は、内外でほとんど例がありません。

大宮図書館所蔵品の白眉

龍谷大学図書館の歴史は古く、1649(慶安2)年から図書館機能が存在し、1652(承応元)年には図書管理係「捨頭」や「蔵司」の職も設けられていました。大宮図書館所蔵品の中で有名なものに、室町初期に書かれた『平家物語』全12巻の写本があります。これは、完本として現存する最古のもので、今はない原本に最も近いといわれています。1957(昭和32)年に岩波書店が戦後初の大全集といわれる「日本古典文学大系全66巻」を出版するにあたり、その中の『平家物語上下』は龍谷大学大宮図書館所蔵の「寛一本『平家物語』全12巻」を底本として書かれています。龍谷大学の図書館には他にも国宝や重要文化財が数多くあり、その一部をホームページや特別イベント等で公開しています。



大宮図書館



『平家物語』の冒頭部分

カルピス社を創業したのは龍谷大学卒業生

カルピス社を創業した三島海雲は、龍谷大学卒業後、青雲の志をもって中国大陸へ渡ります。その後、蒙古へ移った時に病気になる、地元の人たちの介護と「酸乳」と呼ばれる食物によって身体の調子が良くなることを実感します。三島は、蒙古人がたくましい理由が「酸乳」であることを確信し、38歳で帰国後、改良と研究を重ねた末、1919（大正8）年、日本初の乳酸菌飲料「カルピス」の生産販売を開始します。「カルピス」の名前の由来は、カルシウムの「カル」とサンスクリット語の「サルピス（熟酥：仏教の五味の一つ）」をとったものと言われ、三島も初の製品へのネーミングには大変気を使いました。そこで相談した相手は、作曲家の山田耕柝（龍谷大学学歌の作曲者）でした。また、「カルピス」のキャッチフレーズ「初恋の味」は、三島の龍谷大学在学時代の後輩である驪城卓爾が提案したことがきっかけでした。三島は、在学中に、良き恩師と良き仲間恵まれたことを大切にしました。中でも文学寮（本学の前身）教員で、著名なジャーナリストとなる杉村楚人冠を終生の師と仰いでいたことは有名です。



三島海雲 現役社長のころ



「カルピス」1919年

司馬遼太郎さんと五木寛之さん

膨大な稀観書類を有する「大宮図書館」の存在を知った産経新聞の福田定一という記者は、一年余り、毎日のように弁当持参でやって来たという記録が残っています。大宮図書館がきっかけとなり、この福田定一記者は、やがて歴史作家「司馬遼太郎」として文壇にデビューし、その後『坂の上の雲』『竜馬がゆく』など大河小説で知られています。五木寛之さんは、聴講生として三年間、本願寺の大屋根が見える大宮学舎に通い、千葉乗隆先生（後に学長）から真宗史を学びました。この勉学の芽が膨らんで、戯曲『蓮如』から小説『親鸞』へと、大きく花開いたのでしょう。



昭和11年竣工当時の外観（大宮図書館）

『中央公論』と龍谷大学

1887年（明治20年）、普通教校学生らによって『反省会雑誌』が創刊されました。これは、明治政府の廃仏政策や廃仏毀釈の運動からようやくたちなおりつつあった仏教界が直面した新たな危機への対応の現れで、キリスト教の拡大を危惧してのことでした。明治の初め、本願寺は海外にも進出するほど進歩的でしたが、最も先鋭的であった普通教校の学生と教員が中心となり、キリスト教の拡大を意識し、禁酒・禁煙を行い普段の行いも正すという進徳をめざした改革運動を組織します。これが「反省会」で、その機関誌として『反省会雑誌』（のちに『反省雑誌』と改題）が作られました。創刊9年後には本拠を東京に移し、一時はその英文版も発行されました。『反省会雑誌』創刊12年後の1899年（明治32年）には、『中央公論』と改名し、現在まで継続されています。（今も同誌は『反省会雑誌』創刊号からの通号を使用）。『中央公論』誌名は、反省会の中心人物であり、東京帝国大学教授となり現在の武蔵野大学を創立した高楠順次郎が強く推薦したことによるものです。その後、高楠は、龍谷大学卒業生で初の文化勲章受章者となります。『中央公論』となってからは、大正デモクラシーの拠点となりました。南條文雄や姉崎正治、喜田貞吉、岡倉天心、菊池寛、吉野作造など著名な執筆者は枚挙にいとまがありません。（「龍谷大学校友会115周年記念 龍谷大学の誇り」より）

「大谷探検隊」と龍谷大学

1902（明治35）年から1914（大正3）年までの延べ12年間、本願寺第22世宗主・大谷光瑞師により3次に亘って行われた西域・シルクロード踏査探検。大谷探検隊には、多くの龍谷大学関係者が参加しました。当時収集された「大谷コレクション」は、現在も大宮図書館の貴重書庫に約9千点の資料が保管されています。



6〜7世紀 菩薩像頭部



西域の砂漠を進む大谷探検隊

校友の活躍

仏教界、経済界、教育界、スポーツ界、音楽界など、校友は多彩な分野で活躍しています。活躍されている方々を少しご紹介します。

（2022年2月現在）

著名僧

やま だ のう ゆう 山田 能裕	1952年	文・哲学科卒
天台宗瑞応院住職 世界宗教者平和会議参与		
きた がわら きみ ひろ 北河原 公敬	1968年	文・院了（仏教学）
印度山日本寺第6世竺竺 東大寺長老 東大寺学園理事長		
ふじ た こう さい 藤田 浩哉	1970年	文・仏教学科卒
真言宗泉涌寺派宗務総長 今熊野観音寺住職 西国三十三所札所会会長		
ふる や しょう かく 古谷 正覚	1971年	文・仏教学科卒
聖徳宗第7代管長 法隆寺第130世住職		
く がわ げん しょう 久我 儼昭	1975年	文・院了（仏教学）
浄土宗西山禅林寺派管長 総本山永観堂禅林寺法主		
た な か り てん 田中 利典	1979年	文・仏教学科卒
金峯山修験本宗総本山金峯山寺長闍		
まつ うら しゅん しょう 松浦 俊昭	1992年	文・院了
律宗壬生寺貫主		
か とう ちやう じん 加藤 朝胤	2011年	文・仏教学科卒
法相宗大本山薬師寺管主		

作家・詩人・歌人

や め き たかし 矢 貴 隆	1977年	経営学部卒
ノンフィクション作家 『潜入ルポ 東京タクシー運転手』など		
さしかた きやういち とう 指方 恭一郎（日野 真人）	1985年	文・仏教学科卒
歴史小説家 城山三郎経済小説大賞受賞		
だいもん たけ あき 大門 剛明（大谷 剛史）	1997年	文・哲学科卒
社会派ミステリー作家 横溝正史ミステリ大賞など多数受賞		
むら な が さ き 村長 紗季	2010年	社会学部卒
現代小説作家 2009年坊ちゃん文学賞受賞		

音楽

か げつ まこと 花月 真	1985年	経営学部卒
オペラ歌手（バス） 東京二期会正会員 浄土真宗西来寺住職		
た な か とも ゆき 田中 知之	1989年	法学部卒
FPMのDJ・プロデューサー		

つじ あやの 2000年 文・史学科卒
シンガーソングライター ウクレレミュージシャン

みや ぎ たい ねん 宮城 泰年	1954年	文・文学科卒
本山修験宗管長 聖護院門跡第52世門主		
ふく ぼら りゅう ぜん 福原 隆善	1970年	文・博満期退学（仏教学）
浄土宗大本山百萬遍知恩寺第75世法主		
さか い だ りょう こう 坂井田 良宏	1970年	経済学部卒
臨済宗建仁寺派大椿山六道珍皇寺住職		
たか ぎ りょう せい 高木 亮英	1972年	法学部卒
那智山青岸渡寺（西国一番札所）住職		
さ が わ ふ ん 狹川 普文	1975年	文・院了（仏教学）
華嚴宗管長 東大寺第223世別当		
い ま い じょう えん 今井 浄圓	1989年	文・博満期退学（仏教学）
真言宗中山寺派大本山中山寺管長		
おお た に こう じゅん 大谷 光淳	2005年	文・博満期退学（真宗学）
浄土真宗本願寺派第25世門主 全国教誨師連盟総裁 全日本仏教会会長		

おお つじ たか ひろ 大辻 隆弘	1985年	文・院了（哲学）
歌人 斎藤茂吉短歌文学賞など多数受賞		
なえ むら よし あき 苗村 吉昭	1990年	経済学部卒
詩人 小野十三郎賞など詩集賞3賞を受賞		
おお ぎ なお ゆき（しょう じゅん） 大來 尚順	2005年	文・真宗学科卒
浄土真宗本願寺派超勝寺住職 著述家 翻訳家		
す が け い 須賀 ケイ	2020年	社会学部卒
作家 第42回すばる文学賞受賞		

おき の しゅう や 沖野 修也	1989年	文・文学科卒
DJ、プロデューサー		
やな せ なな（梁瀬 奈々）	1999年	文・真宗学科卒
シンガーソングライター 浄土真宗本願寺派教恩寺住職		
み うら あかり 三浦 明利	2011年	文・院了（真宗学）
シンガーソングライター 浄土真宗本願寺派光明寺住職		

画家・書家・陶芸家・写真家

ちく ま しゅうゆう
筑間 宗融　1955年　文・仏文学科卒
書家　中国書法芸術院名誉会員・国際芸術展で数々受賞

し みず やすたか
清水 保孝　1970年　文・史学科卒
陶芸家　京都府指定無形文化財保持者

なか あつ し
中　　淳志　1981年　法学部卒
写真家　アジア仏教圏の「信仰の風景」をテーマ・JPS展で金賞受賞

かぎ い やすあき
鍵井 靖章　1993年　法学部卒
水中写真家　2013年ニッケイナショナルジオグラフィック写真賞優秀賞など多数受賞

うえ だ しょうげん
上田 祥玄　2008年　経済学部卒
アフリカンペイントアーティスト

学術・教育・ボランティア

と よ おか こう じ
登世岡 浩治　1952年　文・仏文学科卒
広島日タイ友好協会顧問　タイ北部の貧困家庭少女の就職支援

しばはら げん き
芝原 玄記　1969年　文・院了(仏教学)
学校法人京都女子学園　理事長・学園長

てら お ふんしょう
寺尾 文尚　1969年　文・仏文学科卒
社会福祉法人ひとは福祉会理事長

たかはし たく し
高橋 卓志　1972年　文・史学科卒
広範囲なボランティア活動を参画・企画

ながくら のり ひろ
長倉 伯博　1982年　文・院了(真宗学)
国立滋賀医科大学非常勤講師　浄土真宗本願寺派善福寺住職

まつ お ゆう すけ
松尾 雄介　1998年　経済学部卒
地球温暖化防止策研究者

スポーツ

たかおか ひさなり
高岡 寿成　1993年　経営学部卒
カネボウ陸上競技部監督

みやもと けん じ
宮本 賢二　2002年　経済学部卒
フィギュアスケート振付師

ふち せ ます み
湊瀬 真寿美　2009年　経済学部卒
陸上選手　2009年日本選手権女子20キロ競歩日本記録保持者

い とう ちから
伊東　　力　2012年　経済学部卒
ラグビー選手(静岡ブルーレヴズ)

たに ぐち まさ たか
谷口 将隆　2016年　文学部卒
プロボクサー　世界ボクシング機構(WBO)ミニマム級世界王者

伝統芸能

み よし げん ざん
三好 莞山　1968年　経済学部卒
尺八奏者　都山流尺八清莞社社主　京都府文化功労賞受賞

たつ み かん
辰巳　　寛　1969年　文・史学科卒
日本画家　日展会員「都をどり」ポスター制作

みずみ
水上 みさき　1979年　文・仏文学科卒
写真家　花と昆虫の写真家

すず き てつ
鈴木　　徹　1987年　文・史学科卒
陶芸家　2016年「平成27年度日本陶磁協会賞」など多数受賞

たけ だ そう ほう
武田 双鳳　1999年　法学部卒
書道家　書法家

さか た げん べい
坂田 源平　2011年　経済学部卒
美術作家

なが え がしゅん
永江 雅俊　1969年　文・史学科卒
ペラルーシ・福島の被曝した子ども達の支援　浄土真宗本願寺派天寧寺前住職

との ひら よし ひこ
殿平 善彦　1969年　文・哲学科卒
朝鮮人強制連行犠牲者の遺骨発掘や調査等　浄土真宗本願寺派一乗寺住職

おお に し あき お
大西 章雄　1969年　文・哲学科卒
社会福祉法人広島聴覚障害者福祉会理事長

たかし ま こう じ
高島 幸次　1974年　文・院了(国史学)
大阪大学招聘教授　大阪天満宮文化研究員・作家

しゃく てっしゅう
釋　　徹宗　1989年　文・院了(真宗学)
相愛大学学長(2022年4月就任予定)
浄土真宗本願寺派如来寺住職　NPO法人「リライフ」代表

むら た り え
村田 理恵　1997年　文学部卒
女子プロゴルファー　2020-2021JLPGAレジェンストツアー優勝

たかさき あきのぶ
高崎 顕信　2008年　文学部卒
アメフト選手(富士通フロンティアーズ)

ふじ た みちのぶ
藤田 道宣　2010年　文学部卒
車いすフエンシング選手　臨床宗教師

せ がわ かずまさ
瀬川 和正　2014年　経済学部卒
セーリング選手

こう ぎょく
紅　　玉　2015年　国際文化学部卒
中国文化一級秘密「変面」継承認定者

経営者

や ぎ こういち
八木 康一　1972年　経営学部卒
(株)医療情報システム 代表取締役　病院をIT技術で効率化

むら い しゅうへい
村井 修平　1974年　法学部卒
(株)ロフトマン 代表取締役　カジュアルファッションショップ　京都4店舗・大阪3店舗

ささくら のぶより
篠倉 庸良　1976年　経営学部卒
(株)ささめ針 代表取締役社長

ご ぶく ひろあき
呉服 弘崎　1979年　経済学部卒
(株)ホテル日航大阪 代表取締役社長・総支配人

たかし ま さかえ
高嶋　　栄　1980年　経営学部卒
(株)船井総研ホールディングス 代表取締役会長グループCEO

くわ た たかはる
桑田 隆晴　1981年　経済学部卒
(株)グリップインターナショナル グリップグループCEO

かわ く ぼ のりゆき
川久保 則志　1983年　経済学部卒
UCCコーヒープロフェッショナル(株) 代表取締役社長

なか お としひろ
中尾 俊博　1984年　法学部卒
光伝導機株式会社 代表取締役社長

おか だ とし お
岡田 敏夫　1986年　経営学部卒
東洋シャッター(株) 代表取締役社長

よし おか たか し
吉岡 貴司　1987年　経済学部卒
サンスター(株) 執行役員

いな の たつろう
稲野 達郎　1988年　経済学部卒
(株)大森屋 代表取締役社長

ふじ おか ほん き
藤岡 春樹　1989年　文・仏文学科卒
(株)藤岡光影堂 代表取締役

はた なか やすし
畑中　　泰　1990年　経営学部卒
(株)ジョイワングループ 代表取締役

かじ やま あつし
梶山　　淳　1991年　法学部卒
(株)GLOBAL NETWORK 代表取締役社長

くわ ばら とちゆき
桑原 知之　1992年　法・院了
ネットスクール(株) 代表取締役社長

うえ つき たけし
植月　　剛　1995年　社会学部卒
(株)イートアンドホールディングス 取締役兼　(株)大阪王将代表取締役社長

さと い けん いち
里井 謙一　1997年　経済学部卒
日本ニット(株) 代表取締役社長

こ やま りき や
小山 力也　1998年　法学部卒
クローバーラボ(株) 代表取締役兼CEO

おん だ なお き
恩田 直樹　2001年　法学部卒
(株)アトライズヨドガワ 代表取締役社長

いま い だ ひろゆき
今井田 広幸　2010年　文学部卒
菊水化学工場(株) 代表取締役社長

すみ の ひろし
角野 博司　1973年　経済学部卒
(株)クマヒラ最高顧問　世界屈指の金庫メーカー

お くに いさむ
小國　　勇　1976年　法学部卒
オブテックスグループ(株) 代表取締役社長兼CEO

よこ い あきら
横井　　昭　1976年　経営学部卒
横井定(株) 代表取締役「日本マスク®」

は せ がわ かつあき
長谷川 克明　1979年　経営学部卒
(株)chicfeel(茱屋グループ) 代表取締役　創作和食店 12店舗

し みず たかとし
清水 卓智　1980年　法学部卒
(株)PHP研究所 特別顧問

うめ ちと ともゆき
梅本 友之　1982年　経営学部卒
イズミヤ(株) 代表取締役社長

おか たけ まさ し
岡武 公士　1984年　経済学部卒
(株)ベストリザーブ 代表取締役会長兼CEO

かじ わら けん じ
梶原 健司　1985年　経済学部卒
(株)千趣会 代表取締役社長

い の うえ あきら
井ノ上 明　1986年　法学部卒
三共生興(株) 代表取締役社長COO

いし い けん じ
石井 謙司　1987年　経営学部卒
ヤマハ発動機販売(株) 代表取締役社長

わき やま のりたか
脇山 典隆　1988年　法学部卒
NSTBGグループCEO・日本綜合テレビ(株) 代表取締役CEO

こ ばやしじゅん じ
小林 淳二　1990年　経済学部卒
アシックスジャパン(株) 代表取締役社長

みや た よういち
宮田 陽一　1990年　経営学部卒
新生化学工業(株) 代表取締役社長　樹脂成型のグローバル企業

よし だ あつ お
吉田 篤生　1991年　法学部卒
吉田染工(株) 代表取締役社長　ニットの世界唯一の全自動染色機

う だ よし のり
宇田 吉範　1993年　社会学部卒
小川珈琲株式会社 常務取締役　Ogawa Coffee USA, INC. 代表取締役兼CEO

や ぎ けん た ろう
矢木 健太郎　1996年　経営学部卒
イオンスーパーセンター(株) 代表取締役社長

なかに し まさ き
中西 正樹　1998年　文学部卒
(株)アミューズ 代表取締役 社長執行役員

はぎ わら あき ひこ
萩原 聡彦　2000年　国際文化学部卒
(株)宿力 代表取締役会長　(株)百楽荘 代表取締役社長

こ ばやし ゆうすけ
小林 裕介　2002年　文学部卒
(株)DESIGN WORKS ANCIENT 代表取締役社長

芸能・マスコミ・放送

さ の みつ のり
佐野 光徳 1976年 経営学部卒
フェニーチェ堺エグゼクティブ・プロデューサー

はやし や そめ じ
林家 染二(吉田 忠史) 1985年 法学部卒
落語家 令和2年度(第75回)文化庁芸術祭大賞(大衆芸能部門)

なかむら ゆう じ
中邨 雄二 1985年 文・哲学科卒
アナウンサー ABC朝日放送(株)のゼネラルアナウンサー

よこ た たけ み
横田 丈実 1989年 文・仏教学科卒
映画監督 浄念寺住職

いな の かず み
稲野 一美 1997年 文・院了
フリーアナウンサー

かみじょう たけし
かみじょうたけし 2000年 文・仏教学科卒
松竹芸能のピン芸人

えんどう ゆ か
遠藤 由香 2010年 文・真宗学科卒
モデル 2007年パリコレ グランプリ受賞

にしむら ゆい
西村 唯 2015年 政策学部卒
フリーアナウンサー

海外で活躍する校友

なか がき けんじつ
中垣 顕實 1983年 文・史学科卒
アメリカ:ニューヨーク平和PRFファンデーションの創始者・会長

ながまつ ま き
永松 真紀 1988年 短・仏教科卒
ケニア:ケニア唯一のプロの添乗員 マサイ戦士の第2夫人

み よ けん じ
美代 賢志 1994年 社会学部卒
ブラジル:サンパウロ ジャーナリスト

きたむら あい こ
北村 愛子 1995年 経済学部卒
アメリカ:ヴァージニア州 ウィリアム&メアリー大学 日本語講師

うえむら か な
上村 佳奈 2001年 国際文化学部卒
アメリカ:LA・ハワイのセレクトショップ「turquoise」オーナー

みつはし か ず よ
三橋 佳寿代 2004年 法学部卒
ソマリア:国連 薬物・犯罪事務所 Project Officer

その他

たけした よし き
竹下 義樹 1975年 法学部卒
弁護士 日本初、視覚障がい乗り越えて司法試験に合格

むねきよ こういち
宗清 皇一 1994年 文・文学科卒
内閣府大臣政務官 兼 復興大臣政務官

いけした たく
池下 卓 2010年 経営・院了
衆議院議員 日本維新の会

はたなか
畑中 ふう 1983年 経済学部卒
ナレーター・声優・ラジオパーソナリティ

やまもと ひろゆき
山本 浩之 1985年 法学部卒
フリーアナウンサー

たか す みつよし
高須 光聖 1988年 経済学部卒
放送作家・脚本家 ダウンタウンの番組など数多く担当

おお はら たく
大原 拓 1996年 文・史学科卒
NHKドラマ番組部チーフ演出 大河ドラマの演出など多数手掛ける

やまぐち あかね
山口 茜 1999年 文・日本語日本文学科卒
劇作家・演出家

いちかわ よしかず
市川 義一 2003年 経済学部卒
吉本興業の芸人「女と男」の“市川くん”

ふくしま のぶひろ
福島 暢啓 2011年 文・院了(日本語日文学)
アナウンサー (株)MBS毎日放送

ふくしま のぶひろ
福島 暢啓 2011年 文・院了(日本語日文学)
アナウンサー (株)MBS毎日放送

ふくしま のぶひろ
福島 暢啓 2011年 文・院了(日本語日文学)
アナウンサー (株)MBS毎日放送

ふもと え り
麓 絵里 1983年 経済学部卒
イギリス:ブリストル フリーランス・コーチ・ファシリテーター

も がみ ゆ う こ
最上 由生子 1991年 法学部卒
チリ:イースター島 ホテルのアテンダント兼マネージャー

ご ほな す み
牛鼻 澄味 1995年 経営学部卒
アイスランド:レイキャビーク 国立アイスランド大学 講師

さくら ぎ あつ こ
櫻木 厚子 2001年 経済学部卒
フィンランド:ヘルシンキ フィンランド放送交響楽団トランペット奏者

まつ お あつ し
松尾 篤史 2004年 法学部卒
オーストラリア領事館(パース) 外務省

かつ だ じゅんこ
勝田 順子 2005年 法学部卒
オーストラリア:ニュー・サウス・ウェールズ州 国際弁護士

おか だ かず き
岡田 一樹 1989年 経営学部卒
藤井寺市長

もとむら のぶ こ
本村 伸子 1998年 文・院了(国史学)
衆議院議員 日本共産党

みず の けん じ
水野 謙二 2011年 社会・院了
阪南市長

校友のお店・旅館・ホテル紹介

校友が経営する飲食店や宿泊施設を紹介します。
近くにお立寄りの際は訪ねてみてはいかがでしょうか。
校友会ホームページの「校友タウン情報」では、さらに詳しい情報を紹介しています。
https://www.ryukoku-koyukai.jp/town
また、校友が経営しているお店をご存知の方は、校友会事務局へご一報ください。
E-mail:koyu@ad.ryukoku.ac.jp



飲食店		
<京都>		
懐石 近又 鵜飼 治二 1976年 経営学部卒	京都市中京区 〈和食〉	IL LAGO (イル ラーゴ) 堀田 樹 2010年 社会学部卒
割烹「いいむら」 飯村 義之 1990年 文学部卒	京都市下京区 〈和食〉	Brique (ブリーク) 紺野 勝 2004年 経済学部卒
旬菜「咲や」 小村 永未子 1997年 文学部卒	京都市上京区 〈和食〉	スペインバル TERNURA (テルヌーラ) 妹背 源忠 2000年 社会学部卒
わしょく「宝来」 宝来 剣太 2006年 文学部卒	京都市東山区 〈和食〉	バリバリインドネシア 岡西 大吾・祐世 1994年 文・短期大学部卒
京・寿司おおきに 村田 勉 1979年 経済学部卒	京都市中京区 〈和食〉	スリランカキッチン・クルンドゥ 野間 寛之 2004年 国際文化学部卒
大國屋鰻兵衛 山岡 国男 1970年 経営学部卒	京都市中京区 〈和食〉	大黒ラーメン本店 岡本 佳宏 1980年 経営学部卒
料理処「はな」 呉 孝 1989年 法学部卒	京都市左京区 〈和食・イタリアン〉	ラーメンムギユ 2店舗 小林 裕介 2002年 文学部卒
居酒屋「人参」 水口 克彦 1970年 経営学部卒	京都市上京区 〈和食〉	まんしゅう 宇治店 伊藤 邦啓 2015年 国際文化学部卒
炭火烧鳥・旬野菜「ツキトカゲ本店」 天ぶら吞み屋「ツキトカゲ新町店」 田島 一生 1995年 経営学部卒	京都市中京区 〈和食〉 京都市中京区 〈和食〉	うめその茶房 6店舗 西川 葵 2000年 国際文化学部卒
Foods bar 菜屋 菜屋 ぎゃらりい菜屋 御肴凸鋒 四季彩しをり 菜屋さらさら シオリヤ太陽族 ちよいと。菜屋 御肴ずっころばし Wine蔵しおり 長谷川 克明 1979年 経営学部卒	京都市伏見区 〈和食〉 京都市下京区 〈和食〉 京都市下京区 〈和食〉 京都市下京区 〈和食〉 京都市下京区 〈和食〉 京都市下京区 〈和食〉 京都市山科区 〈和食〉 京都市南区 〈和食〉 京都市下京区 〈イタリアン〉	cafe ゆきがくれ 田村 勝治 1985年 法学部卒
cenci (チェンチ) 坂本 健 1999年 社会学部卒	京都市左京区 〈イタリアン〉	Laughter 矢野 龍平・三輪 浩朔 2019年 政策学部卒
Tamburino (タンブリーノ) 黒田 秀樹 1988年 経済学部卒	京都市下京区 〈イタリアン〉	京菓子司 おくやま菓舗 奥山 壽武 1969年 経済学部卒
<大阪>		
法善寺横丁「誠太郎」 井上 公孝 1975年 経営学部卒	大阪市中央区 〈和食〉	お料理とお酒 masu 上田 貴大 1997年 経営学部卒

割烹「竜起」 馬場 弘和　1984年 経済学部卒	堺市西区	〈和食〉
日本料理「成田家」 浅川 和彦　1994年 社会学部卒	茨木市別院町	〈和食〉
鴨と日本酒 五角 矢崎 俊輔　2001年 経営学部卒	大阪市北区	〈和食〉
楽食居酒屋 三百円このみ 4店舗 弓削 伊織　1987年 法学部卒	大阪市都島区・ 枚方市楠葉花園町	〈和食〉
百年邑 藤岡 竜二　1979年 法学部卒	河内長野市	〈和食〉
菜食インドレストラン shama (サマ) 山中 章代　2004年 法学部卒	大阪市西区	〈インド〉
お好み・鉄板焼 KONOMU<堀江店> お好み鉄板焼き 南森KONOMU CAFE&BAR MONSTERA 石山 智章　2006年 経済学部卒	大阪市西区 大阪市北区 大阪市中央区	〈和食〉 〈和食〉 〈バー〉
Beer Bar HAJIMARU (ハジマル) 藤澤 良介　2012年 経済学部卒	大阪市中央区	〈バー〉
ザ・ロック食堂 溝内 哲夫　1984年 経営学部卒	大阪市阿倍野区	〈バー〉
3TREE BREWERY 森　凌平　2016年 経済学部卒	茨木市双葉町	〈バー〉
喫茶「ルブラ」 西峯 雅仁　2006年 法学部卒	大阪市天王寺区	〈喫茶〉
喫茶オランダ 山田 芳司　1972年 経営学部卒	大阪市浪速区	〈喫茶〉

<兵庫>

明石 寿司 菊水鮎 萩野 良平　1991年 経営学部卒	明石市桜町	〈和食〉
土鍋めしと炙り淡路鶏 たいがええねん 伊丹本店 伊丹 肉酒場 肉ばっかやん〜肉 bacca やん〜 立ち飲み 伊丹 ほっこり酒場「こまちん家」 日本料理 まっ井 358 神谷 俊彦　1997年 経営学部卒	伊丹市西台 伊丹市中央 伊丹市伊丹 伊丹市西台	〈和食〉 〈洋食〉 〈和食〉 〈和食〉
元祖豚饅頭 老祥記 曹　英生　1979年 経営学部卒	神戸市中央区	〈中華〉
宝塚ビーフカツサンド いつ葉 出原 儀巳　1986年 経営学部卒	宝塚市栄町	〈喫茶〉

<滋賀>

ハウスレストラン「タナカ」 田中 千代美　1977年 文学部卒	大津市水明	〈和食〉
--	-------	------

御肴かわせみ 石窯 Rossa Shioriya 長谷川 克明　1979年 経営学部卒	大津市末広町 大津市梅林	〈和食〉 〈イタリアン〉
イタリア料理 クラテリーノ 中村 琢也　1991年 法学部卒	草津市草津町	〈イタリアン〉

<奈良>

奈良イタリアン Bambuno (バンブーノ) 竹野 公浩　2002年 文学部卒	奈良市今御門町	〈イタリアン〉
---	---------	---------

<和歌山>

かどや食堂 宮井　功　1980年 経済学部卒	有田郡湯浅町	〈和食〉
---------------------------------------	--------	------

<東京>

Ginza Les Bras 銀座レブラ 山口 剛史　1992年 経済学部卒	中央区銀座	〈和食〉
大阪お好み焼・鉄板焼き 88 (パチパチ) 3店舗 岡野 健二　1997年 社会学部卒	千代田区・ 港区・文京区	〈和食〉
関西酒場「らくだば」新宿御苑 井之口 豊　1997年 経営学部卒	新宿区新宿	〈バー〉

<福井>

越前三国川喜 (川崋) 大森 幹夫　1978年 法学部卒	坂井市三国町	〈和食〉
---	--------	------

<岡山>

(株) ジョイワングループ 7店舗 畑中　泰　1990年 経営学部卒	岡山県	〈和食〉
小さな食卓 フラココ 星野 要二　1980年 経営学部卒	岡山市北区	〈和食〉
イタリア料理 MATSU 吉松 直人　2003年 経済学部卒	岡山市北区	〈イタリアン〉

<広島>

御食事処 土田 土田 敏弘　1978年 法学部卒	府中市上下町	〈和食〉
イタリアン精進料理 癒しの空間 淨謙寺 淨謙 彰文　1975年 文学部卒	山県郡北広島町	〈イタリアン〉
ラ・パン・ジュジュ (La.pain.JouJou) 藤山 佐知子　1995年 経済学部卒	廿日市市物見東	〈パン〉

<島根>

茶寮 清泉亭 石飛 硯一郎・奈美　1994年 文学部卒	出雲市多伎町	〈和食〉
--	--------	------

<福岡>

御菓子而 藤丸 藤丸 正一　1977年 法学部卒	太宰府市宰府	〈和菓子〉
---	--------	-------

<大分>

ラーメン福助 山村　剛　1990年 法学部卒	由布市湯布院町	〈ラーメン〉
---------------------------------------	---------	--------

<東海・西日本>

おいしい約束株式会社 ビュッフェ「露菴」11店舗 すすめ!ヴァイキング 2店舗 カルビッシュ 2店舗 しゃぶしゃぶ檸檬 本格焼肉! ヴァイキング宇治店 岡部 知之　1987年 経営学部卒	静岡・愛知・三重・京都・ 大阪・広島・福岡・長崎 京都・山口 広島市・福岡 広島 山口	〈ファミリーレストラン〉 〈ファミリーレストラン〉 〈ファミリーレストラン〉 〈ファミリーレストラン〉 〈ファミリーレストラン〉
--	--	--

<全国・海外>

「大阪王将」「太陽のトマト麺」「よってこや」 全国に約407店舗　〈和食・イタリアン・ラーメン〉 植月　剛　1995年 社会学部卒
--

老舗のお店 ※創業順

創業寛政元年(1789年) 有限会社荒木文之助商店 荒木 彰浩　1990年 経営学部卒	島根県松江市
創業文化7年(1810年) 株式会社元朝 寺田 篤史　1995年 経営学部卒	大阪府岸和田市
創業安政(1854年～1859年) 年間 有限会社帯屋捨松 木村 博之　1985年 経営学部卒	京都府京都市
創業文久元年(1861年) 合名会社 北川半兵衛商店 北川 俊幸　1989年 経済学部卒	京都府京都市
創業明治10年(1877年) 羽原醤油株式会社 従野 孝明　1991年 法学部卒	岡山県岡山市
創業明治21年(1888年) 株式会社久保田 久保田 涉　1992年 文学部卒	広島県廿日市市
創業明治35年(1902年) 株式会社大安 大角 安史　1996年 経済学部卒	京都府京都市

旅館・ホテル

<京都>

宿屋「枳殻荘」 吉村 正己　1967年 文学部卒	京都市下京区	〈旅館〉
懐石・宿「近又」 鵜飼 治二　1976年 経営学部卒	京都市中京区	〈旅館〉
山茂登旅館 山本 憲裕　1993年 文学部卒	京都市東山区	〈旅館〉
民宿「みやま」 武田 英喜・晶子　1991年 経済・経営学部卒	南丹市美山町	〈旅館〉

<大阪>

ホテル日航大阪 呉服 弘晶　1979年 経済学部卒	大阪市中央区	〈ホテル〉
--	--------	-------

<兵庫>

城崎温泉「やなぎ荘」 井本 裕人　1999年 文学部卒	豊岡市城崎町	〈旅館〉
--	--------	------

<石川>

能登 九十九湾「百楽荘」 金澤 湯涌温泉「百楽荘」 萩原 聡彦　2000年 国際文化学部卒	鳳珠郡能登町 金沢市湯涌荒屋町	〈旅館〉 〈旅館〉
--	--------------------	--------------

<長野>

ペンション「RAKU」 瀧本 英樹　1997年 文学部卒	茅野市北山	〈ペンション〉
---	-------	---------

<鳥取>

宿坊・観證院山楽荘 清水 正人　1992年 文学部卒	西伯郡大山町 (宿坊)
---	-------------

<島根>

有限会社小田温泉 (はたご小田温泉) 石飛 硯一郎・奈美　1994年 文学部卒	出雲市多伎町	〈旅館〉
--	--------	------

<広島>

土田旅館 土田 敏弘　1978年 法学部卒	府中市上下町	〈旅館〉
--------------------------------------	--------	------

<熊本>

黒川温泉 夢龍胆 小林 慎太郎　2010年 経済学部卒	阿蘇郡小国町	〈ホテル〉
--	--------	-------

2021年度 校友会役員一覧

役職	氏名	卒年	卒業学部・研究科
会長	赤松 徹眞	1976	博士課程満期退学
副会長	小川 信正	1967	文学部
副会長	湯口 博	1969	経済学部
副会長	荒川 林太郎	1993	社会学部
広報部会長	米田 禎孝	1972	経営学部
総務部会長	町田 徳男	1980	法学部
事業部会長	小濱 聖明	2009	経営学研究科
(常任)理事	田中 正勝	1978	経済学部
(常任)理事	成松 重人	1987	法学部
(常任)理事	泉 千晶	1989	法学部
(常任)理事	田中 秀雄	1997	理工学研究科
(常任)理事	田中 友悟	2017	政策学研究科
(常任)理事	川原 理恵	2019	国際学部
(常任)理事	畑 雄一郎	2019	農学部
理事	田村 富美子	1970	文学部
理事	岩本 泰典	1972	経営学部
理事	神鳥 誠	1972	文学部
理事	畑 利和	1974	経営学部
理事	緒方 静子	1974	経営学部
理事	田中 敏彦	1975	経済学部
理事	菅谷 幸弘	1976	経済学部

役職	氏名	卒年	卒業学部・研究科
理事	長野 加津雄	1985	法学部
理事	村上 孝弘	1986	法学部
理事	前田 典子	1986	経営学部
理事	成宮 孝之	1993	社会学部
理事	前田 佳子	1993	短期大学部
理事	山根 拓也	1996	理工学部
理事	佐古田 英樹	1999	文学部
理事	田口 まゆ	2004	経済学部
理事	坂口 俊幸	2009	法学研究科
理事	西口 智	2013	経営学研究科
理事	宮岸 李奈	2015	政策学部
理事	角本 知史	2015	政策学部
理事	吉岡 毅	2016	社会学部
理事	森 竜樹	2016	理工学研究科
理事	西川 涼	2019	国際学部
理事	増田 美紀	2019	国際学部
理事	大海 未岬	2019	農学部
理事	水嶋 悠太	2019	農学部
監事	樽井 博	1971	経営学部
監事	中根 真	1996	社会学研究科

※(常任)は常任理事会構成員

2020年度 龍谷大学校友会決算 自2020年4月1日 至2021年3月31日

Ⅰ.収入の部 (単位:円)	
1	会 費
2	寄付金
3	広告料収入
4	提携カード収入
5	雑収入
6	その他の収入
7	積立金取崩収入
当年度収入合計(A)	
前年度繰越金	
収入合計(B)	

Ⅱ.支出の部 (単位:円)	
1	事業費
2	運営費
3	施設設備費
4	校友会ネーミングライツ関係費
5	積立金
6	危機管理費
7	380周年記念事業への寄付
8	予備費
当年度支出合計(C)	
当年度収支差額(A)-(C)	
次年度繰越金(B)-(C)	

2020年度 貸借対照表 (2021年3月31日現在) (単位:円)

資産の部		負債の部	
大学預託金 預託現金(普通預金) 定期預金	299,367,125	予納金 (20年度新入生5,072名分)	50,720,000
	130,557,381		
	168,809,744		
		小 計	50,720,000
		積立金・剰余金の部	
		特別事業積立金	18,508,731
		事業拡大積立金	90,327,677
		施設設備拡充積立金	24,082,529
		危機管理積立金	35,890,807
		繰越金	79,837,381
		小 計	248,647,125
合 計		合 計	299,367,125

龍谷大学校友会会則

◇制定 1989年(平成元年)5月30日 ◇改正 1994年(平成 6年)5月27日 1998年(平成10年)5月26日 2003年(平成15年)3月26日 2013年(平成25年)3月27日 2019年(平成31年)2月 5日 2020年(令和 2年)3月27日	◇第1章 総則 (名称及び事務所) 第1条 この会は「龍谷大学校友会」といい、その事務所を京都市伏見区深草塚本町67番地龍谷大学内に置く。 (目的) 第2条 この会は、会員相互の親睦を図り、会員と母校との関係を密にし、その発展に寄与することを目的とする。 (組織) 第3条 この会は、学部同窓会(以下「同窓会」という。)と理事会が別に定める基準による校友会支部(以下「支部」という。)により構成される。 2 同窓会は、当該同窓会に関する会則を定め、校友会に通知するものとする。 (事業) 第4条 この会は、次の事業を行う。 (1) 総会、親睦会その他の諸会合の開催 (2) 母校への協力 (3) 会報その他の刊行・頒布及び校友会名簿の管理 (4) 会員団体・在学生に対する援助 (5) 会員のための諸施設及びその運営に関すること。 (6) 学校法人龍谷大学評議員の選出 (7) その他この会の目的を達成するために必要な事項 (会員) 第5条 この会の会員は、正会員、賛助会員及び名誉会員の3種とする。 (1) 正会員 ア 大教校以降の龍谷大学(予科・選科・本科・専門部・研究科及び大学院を含む。)及び龍谷大学短期大学部(専攻科を含む。)を卒業した者 イ 母校に在籍した者で、この会の主旨に賛同し、入会願を提出し、理事会において承認された者 (2) 賛助会員 ア 母校の現旧教員 イ 母校又はこの会の現旧職員 ウ 交換留学生、特別留学生、外国人特別生、別科学生、交換研究員、客員研究員等として龍谷大学に籍を置いた者で、この会の主旨に賛同し、入会届を提出し、理事会において承認された者 (3) 名誉会員 この会の事業に対して協力をし、理事会において名誉会員として承認された者
--	--

◇第2章 役員 (役員) 第6条 この会に、次の役員を置く。 (1) 会長 1名 (2) 理事 若干名 (3) 監事 2名 2 理事は、各同窓会から選出されたそれぞれ3名及び会長が推薦した者とする。ただし、会長が推薦する理事は同窓会選出理事総数の半数以内とし、会長を選出した理事会が承認した者とする。 3 監事は、各同窓会長の意見を聞いて、理事会において選任する。 (会長の選出) 第7条 会長の選出は、現に会長の職にある者の任期が満了する前2箇月以内に行うものとする。 2 理事会は、前項の会長選出のため、会長候補者推薦委員会を置く。 3 会長候補者推薦委員会は、校友会員の中から、会長候補者を理事会に推薦するものとし、その推薦に当たっては、被推薦者が会長候補者となることを承諾している旨の疎明を行わなければならない。 4 理事会は、前項に基づき、推薦された会長候補者の中から会長を選出する。 5 前各項に定める事項以外の会長選出に係る必要な事項は、理事会において定める。 (副会長及び部会長の選出) 第8条 副会長及び部会長の選出は、各同窓会の意見を尊重して、理事の中から会長の指名により行う。 2 副会長は3名とし、部会長は部会ごとに1名とする。 (役員の任期) 第9条 役員の任期は3年とし、2年経過した翌年の3月31日をもって任期満了とする。ただし、後任者が決定するまでは、なお引き続きその職務を行わなければならない。 2 任期の中途において役員に欠員が生じた場合は、直ちに補充するものとする。この場合の任期は前項の規定にかかわらず前任者の残任期間とする。 (役員の職務) 第10条 役員の職務は、次のとおりとする。 (1) 会長 この会を代表し、理事会の決定するところを執行する。 (2) 副会長 会長を補佐し、会長事故ある時は、その職務を代理する。 (3) 部会長 各部会を代表し、部会を運営する。 (4) 理事 理事会を構成し、この会の業務を行う。 (5) 監事 次の業務を行う。 ア この会の財政の状況を監査し、総会に報告すること。 イ この会の財政の状況、業務執行の状況について理事会に意見を述べること。 ウ 監査の結果、不整の点のあることを発見したときは、これを理事会に報告する。 第11条 理事会の決定するところにより、この会に名誉顧問、名誉会長又は顧問(若干名)を置くことができる。
--

◇第3章 機関 (総会の開催) 第12条 本会の総会は年1回、会長が招集する。臨時総会は理事会が必要を認めたとき又は会員の3分の2以上の請求があったときに開催しなければならない。 (総会の付議事項) 第13条 次の事項は総会に提出し、出席者の意見を聴するものとする。 (1) 予算について (2) 決算について (3) 事業報告 (4) その他の事項 (理事会の構成) 第14条 理事会は、会長及び理事によって構成する。 2 理事会の議長は、会長が当たる。 (理事会の権限) 第15条 理事会の職務権限は、次のとおりとする。 (1) 資産管理に関する事項 (2) 予算及び決算に関する事項 (3) 第4条に関する事項 (4) その他の事項
--

(理事会の招集) 第16条 理事会は会長が必要と認めたとき、理事会構成員の3分の1以上から開催を要求されたとき又は監事から開催を要求されたときに会長が速やかに招集する。 (理事会の成立) 第17条 理事会は定数の過半数の出席がなければ議事を開き議決をすることはできない。ただし、委任状提出者は出席とみなす。 (理事会の参考人招請) 第18条 理事会が議決をするに当たり、必要ある場合は理事会構成員以外の者に出席を求め、その意見を聞くことができる。 (理事会の議決) 第19条 理事会の議決はすべて多数決により行う。 (常任理事会の構成) 第20条 常任理事会は次の各号の者で構成し、各同窓会から選出された理事のうちそれぞれ1名が第2号から第4号までのいずれかの構成員となるように配慮するものとする。 (1) 会長 (2) 副会長 (3) 部会長 (4) 会長が指名する理事 (常任理事会の招集) 第21条 常任理事会は、会長が必要と認めたときに招集する。 (常任理事会の権限) 第22条 常任理事会の職務権限は、次のとおりとする。 (1) 理事会の議決執行に関する事項 (2) 理事会の委任事項 (3) その他臨時緊急の処理事項 (部会の設置) 第23条 理事会の下に第4条に定める事業に応じて、次の各号に掲げる部会を置き、各部会の職務は当該各号に定めるところとする。 (1) 総務部会 予算・決算、支部に関すること。 (2) 事業部会 各事業の企画・実施に関すること。 (3) 広報部会 広報に関すること。 2 理事は、前項に規定された部会のうち、いずれかの部会に所属しなければならない。 (専門委員会の設置) 第24条 会長は、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

◇第4章 事務局 (事務局の設置) 第25条 この会の庶務を処理するために、会長の下に事務局を置く。 (職員) 第26条 事務局に次の職員を置く。 (1) 局長 1名 (2) 局員 若干名 2 前項に掲げる職員以外に、必要に応じて次長1名を置くことができる。 (職員の任免) 第27条 事務局職員の任免は、会長が行う。 (職員の職務) 第28条 局長は、会長の命を受けて、この会の庶務を処理する。 2 局員は、局長の指示を受けて庶務に従事する。 (局長職務の特例) 第29条 局長は、前条によるほか、毎年度、予算案・決算案を作成し会長を通じ理事会に提案しなければならない。 (職員給与) 第30条 事務局職員に対して支給する給与は、理事会において決定する。ただし、大学の専任の職員等に業務を依頼する場合は、無給とすることができる。

◇第5章 会計 (会計) 第31条 この会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってあてる。 (会費) 第32条 正会員は、終身会費として4万円を納入しなければならない。ただし、この会費のうち1万円は入学時に予納するものとする。 (会計年度) 第33条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年の3月31日に終わるものとする。 (決算の期日) 第34条 理事会は、毎会計年度終了後3箇月以内に決算を完了しなければならない。 2 決算には、監事の意見を添付しなければならない。 (決算の責任) 第35条 決算について監事から不整ありと判断された場合は、理事は連帯して責任を負うものとする。
--

◇第6章 補則 (この会則の改廃) 第36条 この会則の改廃は理事会において行い、その議決は出席理事の3分の2以上の同意により行う。 第37条 この会則の執行に関する細則は、理事会で定めることができる。
--

付則 この会則は、1989年(平成元年)5月30日から施行する。 付則1994年(平成6年)5月27日第26条、第28条改正 この会則は、1994年(平成6年)5月27日から施行する。 付則1998年(平成10年)5月26日第5条改正 この会則は、1998年(平成10年)5月26日から施行する。 付則2003年(平成15年)3月26日第21条改正 この会則は、2003年(平成15年)4月1日から施行する。 付則2013年(平成25年)3月27日第5条、第8条改正 この会則は、2013年(平成25年)4月1日から施行する。 付則(平成31年2月5日第1条～第7条、第24条～第26条、第28条改正、旧第13条、旧第15条、旧第17条～旧第19条、旧第21条、旧第22条繰上・改正、旧第8条～旧第10条、旧第32条～旧第34条、旧第36条繰下・改正、旧第14条、旧第16条、旧第20条、旧第23条繰上、旧第31の2、旧第35条繰下、第7条第4項及び第5項、第23条、第26条第2項新設、第3条第3項、第6条第1項第2号、旧第11条、旧第12条削除) この会則は、2019年(平成31年)4月1日から施行する。
--

付則 2020年(令和2年)3月27日第5条改正 この会則は、2020年(令和2年)3月27日から施行する。
